Infectious Diseases Weekly Report JAPAN
IDWR
2009年第48週（11月23日～11月29日）：通巻第11巻第48号

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律
感染症発生動向調査

感染症週報

厚生労働省／国立感染症研究所

マークをクリックするとそのページを見ることができます

発生動向総覧 P.2-5
＜第48週＞水痘の定点当たり報告数は第42週以降増加が続いている／その他最新動向

注目すべき感染症 P.6-9
＜インフルエンザ＞
第48週の定点当たり報告数は39.63と3週連続で増加し、2009年の最高値を更新した

病原体情報 P.10-14
インフルエンザウイルス 2009/10シーズン／感染性胃腸炎関連ウイルス 2008/09＆2009/10シーズン

速報 P.15-23
細菌性赤痢－2008年／新型インフルエンザ感染が証明された劇症型溶血性レンサ球菌感染症の1例－堺市

海外感染症情報
＜今週は該当記事はありません＞

感染症の話 P.24
＜今週はお休みです＞

読者のコーナー
＜今週は該当記事はありません＞

グラフ総覧（48週） P.25-30

48週のデータ P.31-43

発生動向総覧

＜第４８週コメント＞１２月２日集計分

◆全数報告の感染症

注意：これは**当該週に診断**された報告症例の集計です。しかし、迅速に情報還元するために期日を決めて集計を行いますので、当該週に診断された症例の報告が集計の期日以降に届くこともあります。それらについては一部を除いて発生動向総覧では扱いませんが、翌週あるいはそれ以降に、巻末の表の累積数に加えられることになります。

※感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを示します。

1類感染症

報告なし

2類感染症

結核238例

3類感染症

細菌性赤痢2例　感染地域：福島県1例、カンボジア1例

腸管出血性大腸菌感染症35例（有症者24例、うちHUS なし）

感染地域：国内35例

国内の感染地域：石川県3例、愛知県3例、宮城県2例、秋田県2例、千葉県2例、東京都2例、滋賀県2例、兵庫県2例、高知県2例、福岡県2例、鹿児島県2例、岩手県1例、埼玉県1例、神奈川県1例、京都府1例、大阪府1例、徳島県1例、熊本県1例、不明4例

年齢群：1歳（1例）、2歳（2例）、3歳（2例）、6歳（2例）、7歳（1例）、8歳（1例）、10代（2例）、20代（7例）、30代（4例）、50代（4例）、60代（3例）、70代（5例）、80代（1例）

血清型・毒素型：O157 VT1・VT2（11例）、O157 VT2（10例）、O26 VT1（2例）、O91 VT1・VT2（2例）、O91 VT1（2例）、O157 VT1（1例）、O74 VT不明（1例）、O103 VT1（1例）、O111 VT1・VT2（1例）、O121 VT2（1例）、O145 VT2（1例）、その他・不明（2例）

累積報告数：3,668例（有症者2,454例、うちHUS 76例．死亡3例）

腸チフス1例　感染地域：神奈川県

4類感染症

つつが虫病20例　感染地域：福島県3例、宮崎県3例、鹿児島県3例、千葉県2例、岐阜県2例、三重県2例、神奈川県1例、石川県1例、和歌山県1例、広島県1例、大分県1例

デング熱1例　感染地域：インドネシア

レジオネラ症18例（肺炎型18例）

感染地域：兵庫県3例、三重県2例、広島県2例、新潟県1例（温泉）、福井県1例（温泉）、静岡県1例、大阪府1例、香川県1例、愛媛県1例、高知県1例、国内（都道府県不明）3例、タイ1例

年齢群：40代（1例）、50代（7例）、60代（5例）、70代（3例）、80代（1例）、90代（1例）

5類感染症

アメーバ赤痢4例(腸管アメーバ症3例、腸管外アメーバ症1例)
感染地域:東京都1例、静岡県1例、兵庫県1例、沖縄県1例
感染経路:性的接触2例(異性間2例)、不明2例

ウイルス性肝炎1例　B型__感染経路:性的接触(異性間)

急性脳炎14例　インフルエンザウイルスAH1pdm 11例__年齢群:0歳(1例)、1歳(1例)、3歳(1例)、5歳(1例)、6歳(1例)、7歳(1例)、9歳(1例)、10代(2例)、30代(1例)、60代(1例)
サルモネラ1例__年齢群:10代
病原体不明2例__年齢群:1歳(2例)

クロイツフェルト・ヤコブ病1例
孤発性プリオン病古典型

劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例
年齢群:30代

後天性免疫不全症候群5例(AIDS 1例、無症候4例)
感染地域:国内5例
感染経路:性的接触4例(異性間1例、同性間3例)、不明1例

髄膜炎菌性髄膜炎1例　感染地域:山口県

梅毒5例(早期顕症II期2例、無症候3例)

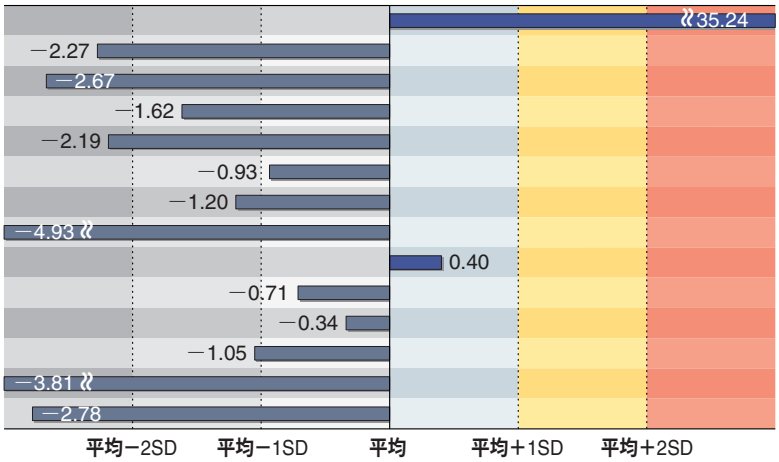
麻しん3例〔麻しん(検査診断例1例、臨床診断例2例)〕
感染地域:国内2例、ベトナム1例
国内の感染地域:埼玉県1例、大阪府1例
年齢群:0歳(2例)、9歳(1例)
累積報告数:712例〔麻しん(検査診断例234例、臨床診断例295例)、修飾麻しん(検査診断例183例)〕

(補)他に2009年第47週までに診断されたものの報告遅れとして、E型肝炎1例(感染地域:不明__感染源:焼き肉)、エキノコックス症1例(多包条虫__感染地域:北海道)、デング熱1例(デング出血熱__感染地域:ベトナム)、日本紅斑熱1例(感染地域:和歌山県)、レジオネラ症2例〔感染地域:栃木県1例(温泉)、静岡県1例(温泉)〕、急性脳炎26例〔インフルエンザウイルスAH1pdm 18例(4歳4例、5歳1例、6歳2例、8歳3例、9歳3例、10代3例、30代1例、70代1例)、インフルエンザウイルスA型2例(3歳1例、7歳1例)、インフルエンザウイルス型不明1例(7歳)、EBウイルス1例(5歳)、病原体不明4例(1歳3例、2歳1例)〕、劇症型溶血性レンサ球菌感染症2例〔50代(1例)、60代(1例. 死亡)〕、風しん1例(臨床診断例. 感染地域:兵庫県. 年齢群:10～14歳)などの報告があった。

◆定点把握の対象となる5類感染症

全国の指定された医療機関(定点)から報告され、疾患により小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)に分かれています。また、定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。

定点把握疾患の報告の過去5年間の同時期との比較(第48週)



	定点当たり報告数
インフルエンザ	39.63
咽頭結膜熱	0.10
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.82
感染性胃腸炎	2.89
水痘	1.11
手足口病	0.28
伝染性紅斑	0.06
突発性発しん	0.42
百日咳	0.03
ヘルパンギーナ	0.06
流行性耳下腺炎	0.69
急性出血性結膜炎	0.01
流行性角結膜炎	0.33
マイコプラズマ肺炎	0.24

SD:標準偏差

当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)との差をグラフ上に表現した。

インフルエンザ

定点当たり報告数は3週連続で増加し、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多い。都道府県別では福井県(95.44)、大分県(75.22)、宮崎県(69.08)、山口県(63.59)、福岡県(63.35)、鹿児島県(61.95)、長崎県(59.14)、石川県(59.06)、香川県(54.87)、愛媛県(52.87)が多い。

小児科定点報告疾患

RSウイルス感染症の報告数は1,327例と第40週以降増加が続いている。年齢別では、1歳以下の報告数が全体の約68%を占めている。

咽頭結膜熱の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では石川県(0.48)、島根県(0.39)、熊本県(0.35)が多い。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では山口県(2.90)、富山県(2.21)、鳥取県(2.11)が多い。

感染性胃腸炎の定点当たり報告数は3週連続で増加した。都道府県別では大分県(7.6)、熊本県(7.5)、福井県(5.0)が多い。

水痘の定点当たり報告数は第42週以降増加が続いている。都道府県別では福井県(2.73)、宮崎県(2.14)、富山県(2.07)が多い。

手足口病の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では山形県(2.20)、福井県(0.82)、沖縄県(0.79)が多い。

伝染性紅斑の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では青森県(0.38)、愛媛県(0.24)、長野県(0.18)が多い。

百日咳の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では千葉県(0.14)、高知県(0.13)、鳥取県(0.11)が多い。

ヘルパンギーナの定点当たり報告数は第42週以降減少が続いている。都道府県別では熊本県(0.27)、鹿児島県(0.22)、大分県(0.19)が多い。

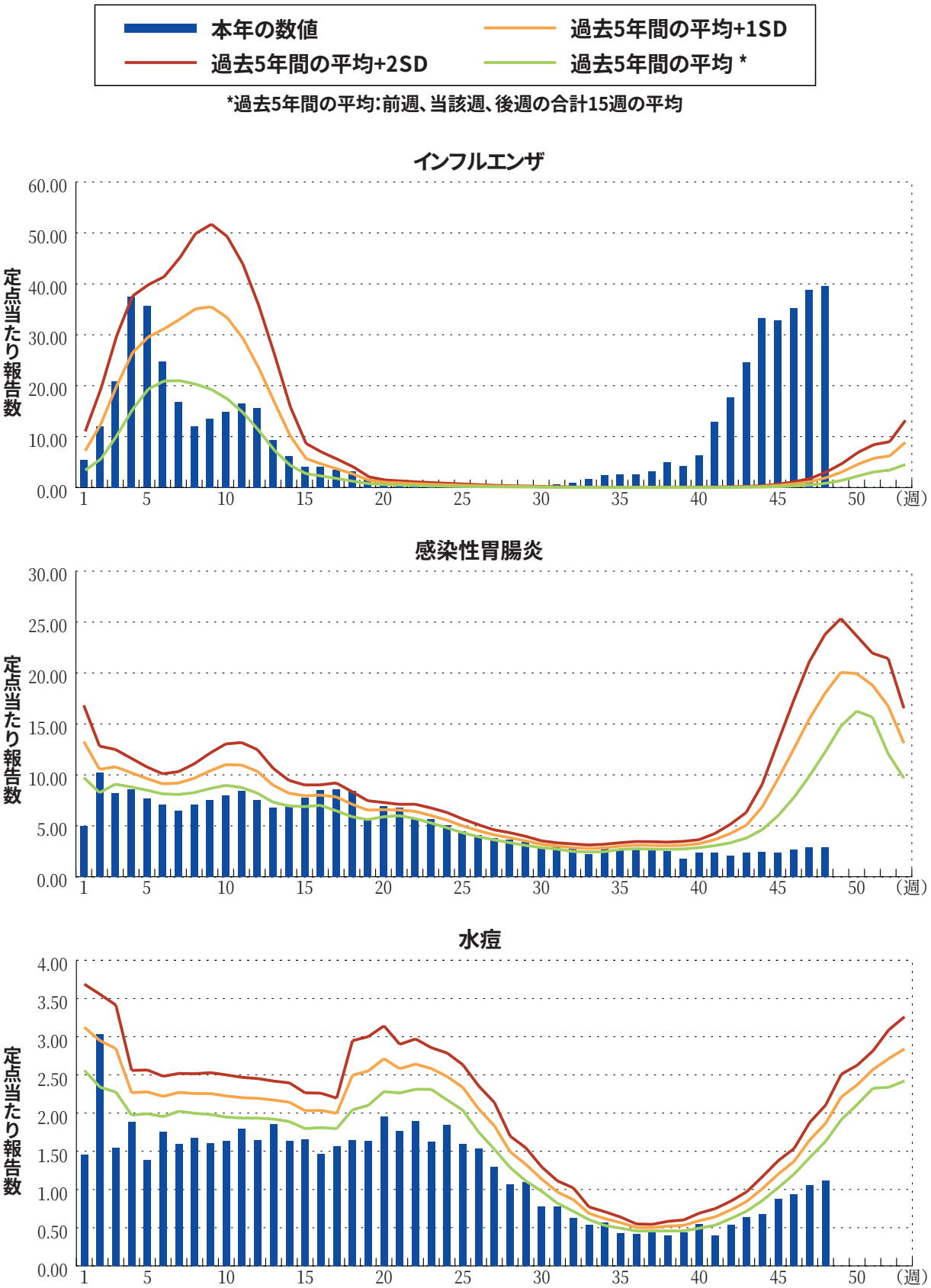
流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では山形県(2.83)、福井県(2.41)、沖縄県(1.53)が多い。

基幹定点報告疾患

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では宮城県(1.83)、沖縄県(1.71)、埼玉県(0.78)が多い。

図. 主要定点把握疾患の過去5年間との週別比較（2009年第1～48週）

青のバーで示す本年の定点当たり報告数が赤のラインを超えているときには、過去5年間の週と比較してかなり多いことを示す。



注目すべき感染症

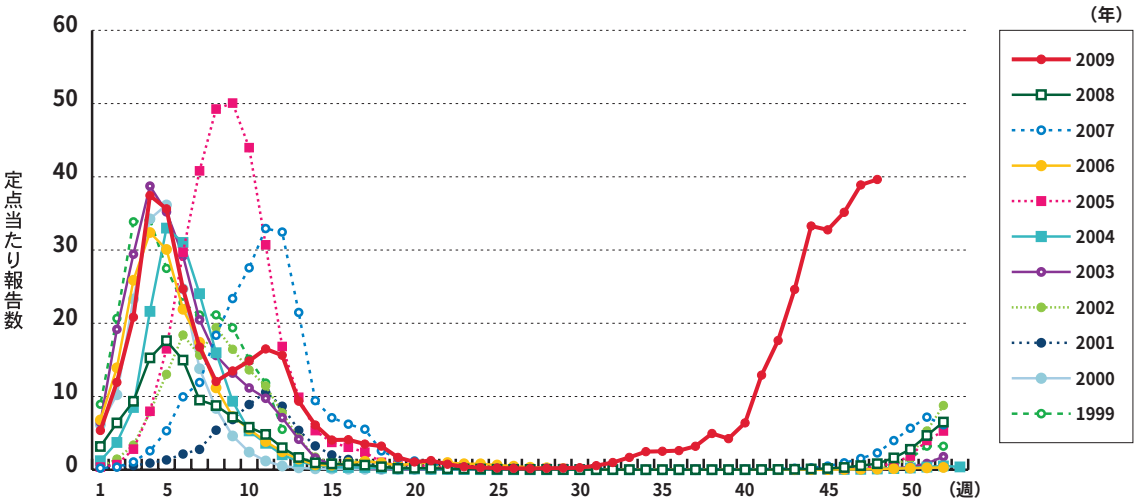
◆インフルエンザ

インフルエンザ（Influenza）は、インフルエンザウイルスを病原体とする急性の呼吸器感染症で、毎年世界中で流行がみられている。2009年4月にその存在が明らかとなった新型インフルエンザA/H1N1の臨床像は、従来の季節性インフルエンザとほぼ同様であり、罹患者の大半は合併症なく治癒するといわれているが、肺炎やインフルエンザ脳症を併発して重症化する場合がある。特に肺炎は、急速に進行する重症のウイルス性肺炎を起こす場合が多く、喘息や慢性閉塞性肺疾患等の呼吸器疾患の存在が急激な悪化と関連しているといわれている〔Clinical features of severe cases of pandemic influenza： Pandemic（H1N1）2009 briefing note 13, Global Alert and Response, WHO, Oct. 16, 2009；http://www.who.int/csr/disease/swineflu/notes/h1n1_clinical_features_20091016/en/index.html〕。現在新型インフルエンザは、世界的には、北米、ヨーロッパ、アジア等の北半球の国々において大きな流行となっている〔Pandemic（H1N1）2009-update77：http://www.who.int/csr/don/2009_12_04/en/index.html〕。

感染症発生動向調査では、全国約5,000カ所（小児科定点約3,000、内科定点約2,000）のインフルエンザ定点からの報告に基づいてインフルエンザの発生動向を分析している。本サーベイランスは原則的に臨床診断によるものであり、最近の国内のインフルエンザウイルス検出状況を考慮すれば、現在報告されているインフルエンザ患者発生の殆どは新型インフルエンザによるものであると推定される。

2009年第48週のインフルエンザの定点当たり報告数は39.63（報告数190,801）と3週連続で増加し、2009年の最高値を更新した（**図1**）。都道府県別では福井県（95.44）、大分県（75.22）、宮崎県（69.08）、山口県（63.59）、福岡県（63.35）、鹿児島県（61.95）、長崎県（59.14）、石川県

図1. インフルエンザの年別・週別発生状況（1999～2009年第48週）



(59.06)、香川県(54.87)、愛媛県(52.87)の順となっている。定点当たり報告数は、北海道を除く46都府県で20.00を上回り、40府県で30.00を、27県で40.00を上回っているが、19都道府県では前週よりも減少している(**図2**)。

定点医療機関からの報告数をもとに、定点以外を含む全国の医療機関を1週間に受診した患者数を推計すると約189万人となり、第28週以降第48週までの累積の推計患者数(暫定値)は約1,264万人(95%信頼区間:1,246万人～1,282万人)となった(**図3**)。性別では男性約664万人(52.4%)女性約603万人(47.6%)であり、年齢群別では10～14歳約350万人(27.8%)、5～9歳約

図2. インフルエンザの都道府県別定点当たり報告数の推移(2009年第46～48週)

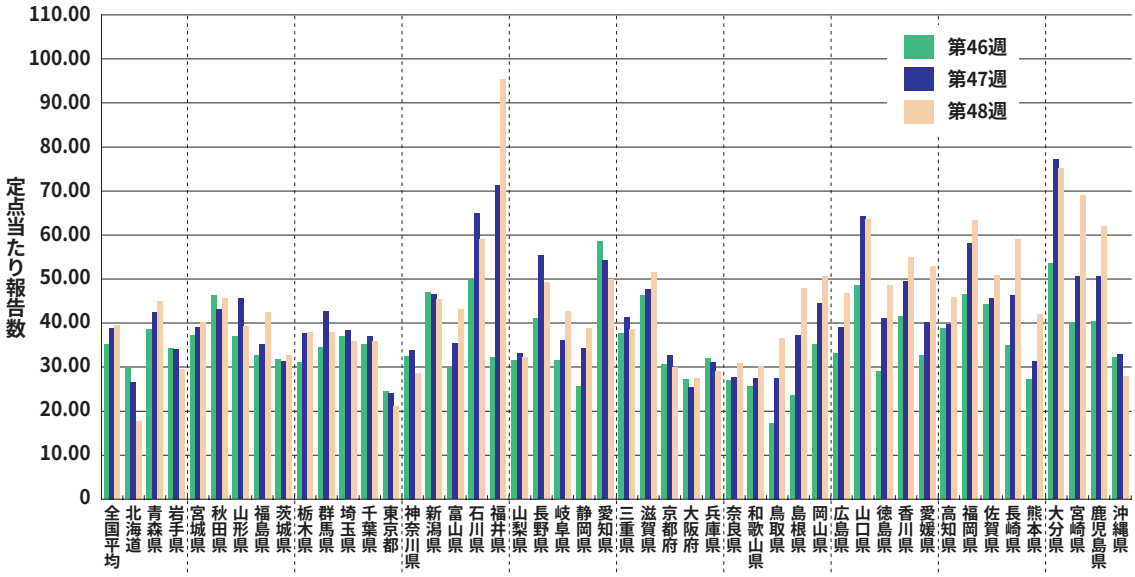
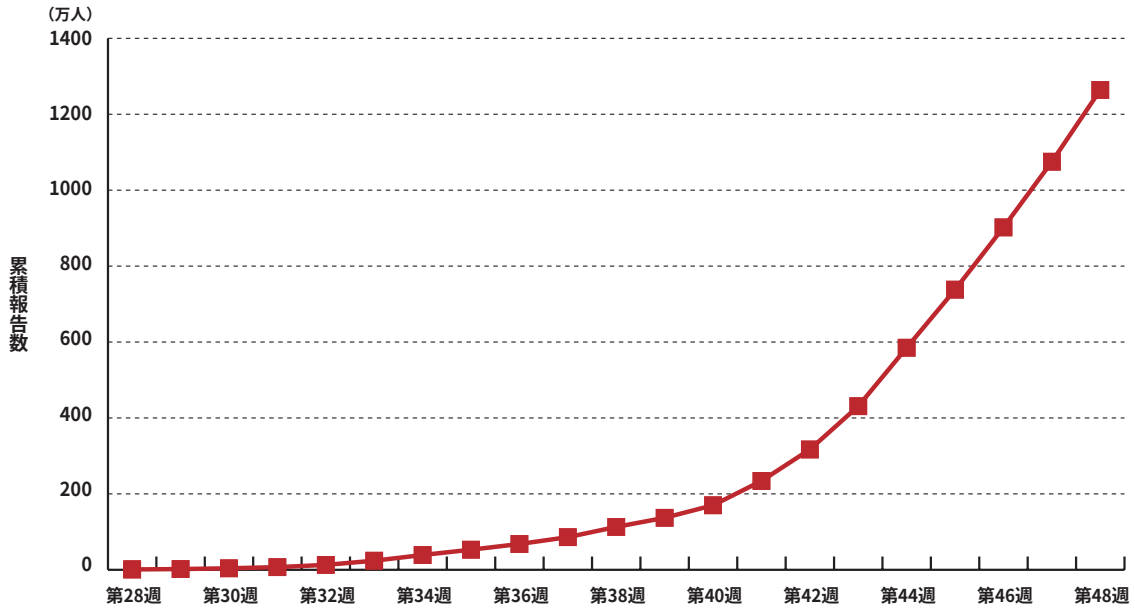


図3. インフルエンザ累積推計受診患者数(暫定値)週別推移(2009年第28～48週)



338万人(26.9%)、15～19歳約192万人(15.3%)、0～4歳約119万人(9.5%)、20～29歳約102万人(8.1%)、30～39歳75万人(6.0%)の順となっている(**図4**)。第48週は、これまで流行の中心ではなかった0～4歳の低年齢児及び20代、30代を中心とした成人層の増加が目立っている(**図5**)。

日本で新型インフルエンザウイルスAH1pdmが検出された2009年第19週以降第48週までに18,417件のインフルエンザウイルスの検出が報告されており、そのうちAH1pdmは17,370件(94.3%)を占めている。また、特に患者報告数が増加し始めた第28週以降では、第48週までに16,177件のインフルエンザウイルスの検出が報告され、AH1亜型(Aソ連型)18件(0.11%)、AH3亜型(A

図4. インフルエンザ推計受診患者数(暫定値)の年齢群別割合(2009年第28～48週)

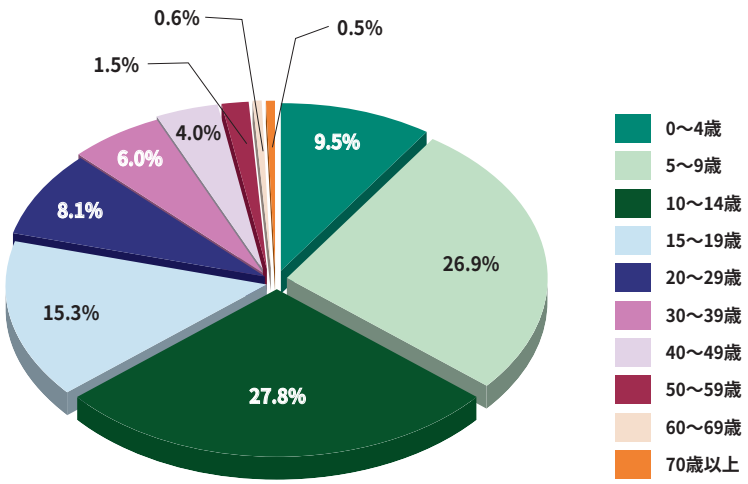
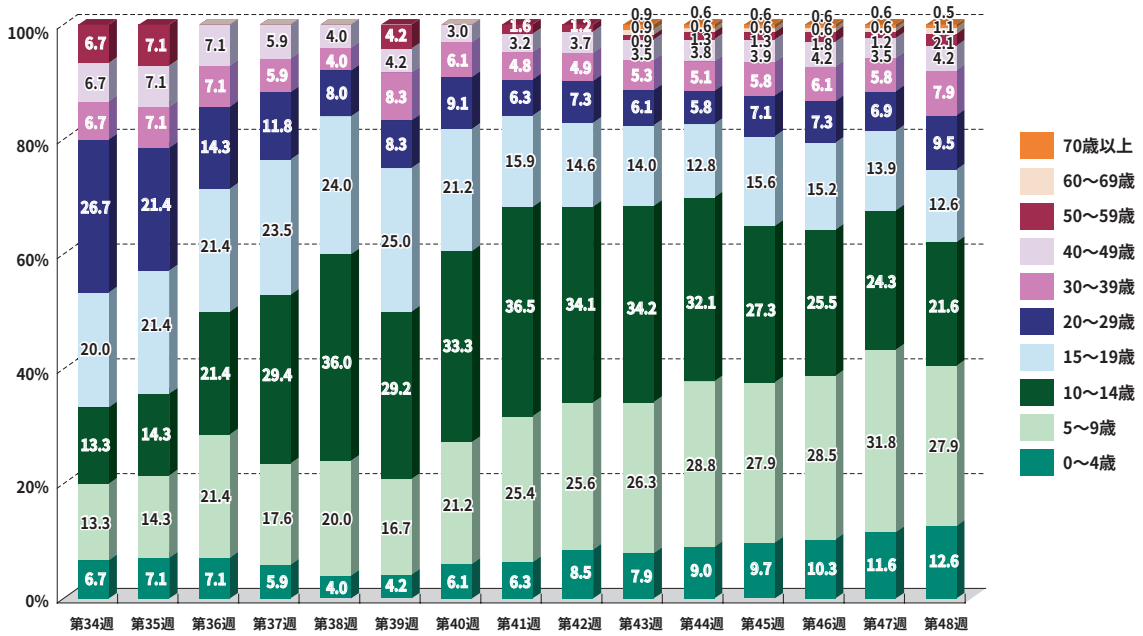
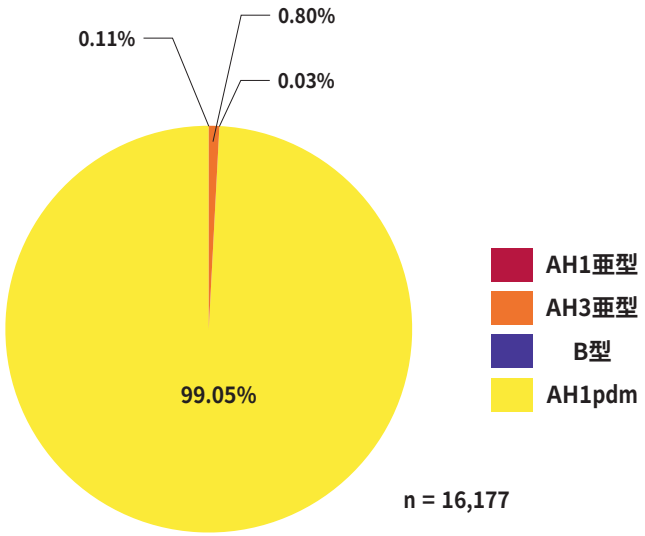


図5. インフルエンザ推計受診患者数(暫定値)の年齢群別割合の週別推移(2009年第34～48週)



香港型）130件（0.80%）、B型5件（0.03%）、AH1pdm（新型インフルエンザウイルス）16,024件（99.05%）とインフルエンザウイルスの検出報告数の大半をAH1pdmが占めており、現在国内で発生しているインフルエンザの殆どは新型インフルエンザによるものであると推定される（**図6**および感染症情報センターホームページ：http://idsc.nih.go.jp/iasr/prompt/graph/sinin1.gif 参照）。

図6. インフルエンザウイルス検出報告割合（2009年第28～48週）
（病原微生物検出情報：2009年12月3日現在報告数）



インフルエンザ定点当たり週別報告数は、祝日のあった第45週にやや減少したものの、その後3週連続で増加し、全国規模での本格的な流行が続いた。今回の流行の当初にその中心であった大都市圏では、患者報告数は横ばいかやや減少傾向を示している地域が多いが、中部、中国、四国、九州では急激な増加が続いている地域も少なくない。年齢群別における推計受診患者数（暫定値）では、第48週は前週に比較して、0～4歳、及び成人層の年齢群での増加が目立った。これまで流行の中心であった5～19歳の年齢群の周辺の年齢群の患者発生数が増加してきているものと思われる。

これまでのパンデミックの例をみても、新型インフルエンザの流行は、国民の多くが感染し免疫を保有するに至るまでは繰り返されるものと考えられる。第28週以降、インフルエンザの患者報告数は増加傾向が続いており、既に推計の医療機関受診患者数（暫定値）は1,000万人を上回っており、年齢群別では相当の割合で患者が発生しているところも出て来ている。特に10～14歳、5～9歳の年齢群は、既に相当数が新型インフルエンザに罹患していると推定され、今後これらの年齢群からの罹患者数は大きく増加することはなく、むしろ短期間のうちに減少してくる可能性が考慮される。しかし、これまでは従来のインフルエンザの流行シーズンとは異なった季節における流行であり、インフルエンザの流行に適した冬季に入り、季節性インフルエンザの流行も交えた本格的な流行が再び到来することも考慮しておく必要があるものと思われる。一旦は現在の流行が収束傾向を示したとしても、再びインフルエンザの流行の規模が拡大する可能性は低くはないと考えられる。また、現時点では4歳以下の小児の受診者数と入院患者数の増加については、引き続き注意していくべきであり、新型インフルエンザを含めたインフルエンザの発生動向には今後とも警戒が必要である。

病原体情報

＊グラフはIASRホームページ（http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html）からの引用です。

各都道府県市の地方衛生研究所（地研）からの検出報告です。週別の報告数は、病原体が分離・検出された検体の採取日による週ごとの報告数です。地域別の報告数は、その地域に所在する地研からの総報告数を都道府県別に示しています。

（2009年12月3日現在報告分）

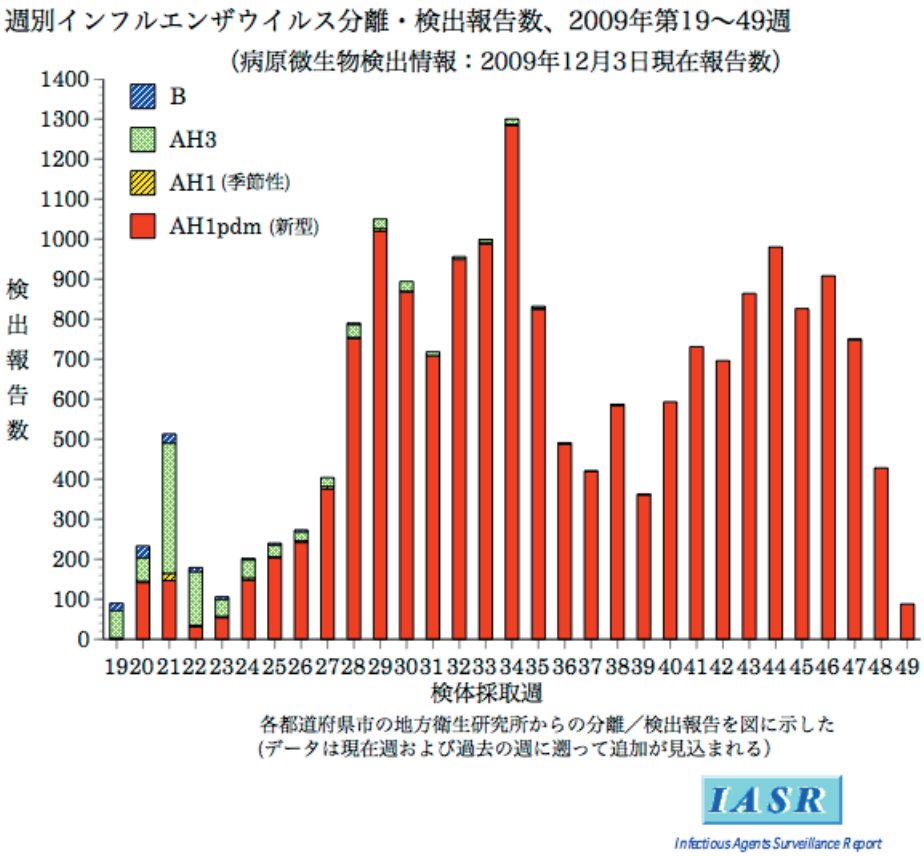
◆インフルエンザウイルス　2009/10シーズン

国立感染症研究所・感染症情報センターには地方衛生研究所（地研）から「病原体個票」が報告されている。これには感染症発生動向調査の定点およびその他の医療機関、保健所等で採取された検体から検出された病原体の情報が含まれる。

2009年第19週に採取された検体から新型インフルエンザウイルスAH1pdmが最初に分離・検出され、2009年第49週までに全47都道府県から17,462件が報告されている。

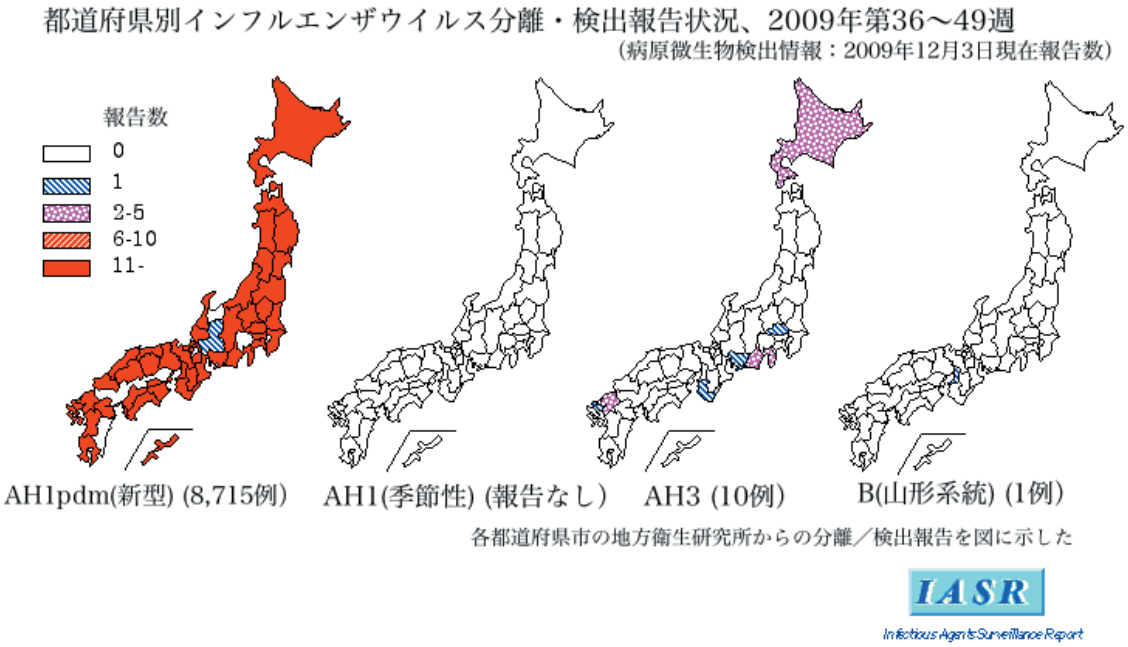
このうち、10,906件はPCRで検出、5,618件はPCRで検出後ウイルス分離培養も陽性、938件はPCRでは検出されず分離培養のみで陽性となっている。また、下気道炎（肺炎、気管支炎）1,102件、インフルエンザ脳症116件、死亡例36件が報告されている。

同期間（第19～49週）に季節性インフルエンザウイルスの分離・検出はAH1亜型（Aソ連型）が65件、AH3亜型（A香港型）が879件、B型が103件の報告があり、AH1pdmはこの期間の分離・検出例全体の94%を占めている。



2009/10シーズンに入ってからは、2009年第36～49週にAH1pdmが44都道府県から8,715件、第36～39週にAH3亜型が7道県から10件報告され、第47週にB型（山形系統）が大阪府から1件報告されているが、AH1亜型は第36週以降報告されていない。

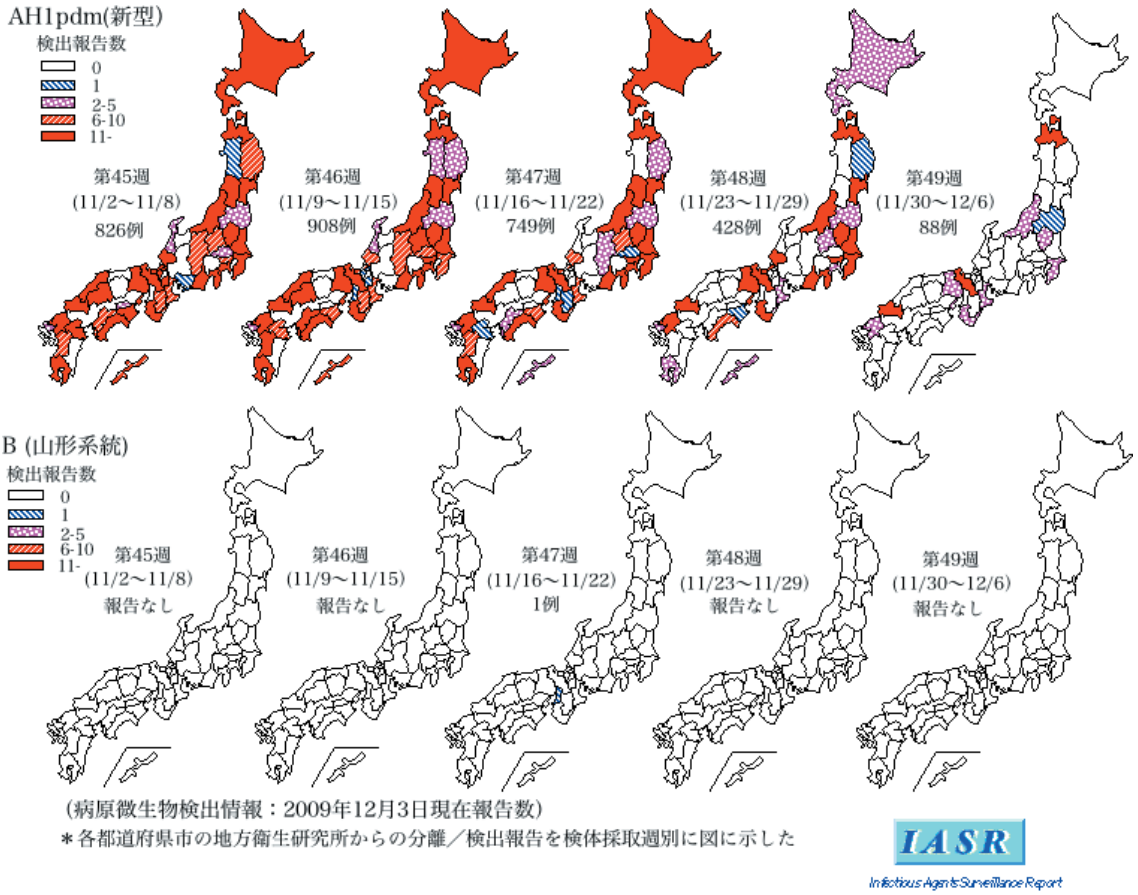
このうち、輸入例からの分離・検出が15件（AH1pdm 12件、AH3亜型3件）報告されている。



直近の5週間（第45～49週）ではAH1pdmが40都道府県から2,999件、B型（山形系統）が大阪府から1件報告されている。

インフルエンザウイルス分離・検出速報は http://idsc.nih.go.jp/iasr/influ.html を参照ください。

週別都道府県別インフルエンザウイルス分離・検出報告状況、2009年第45～49週



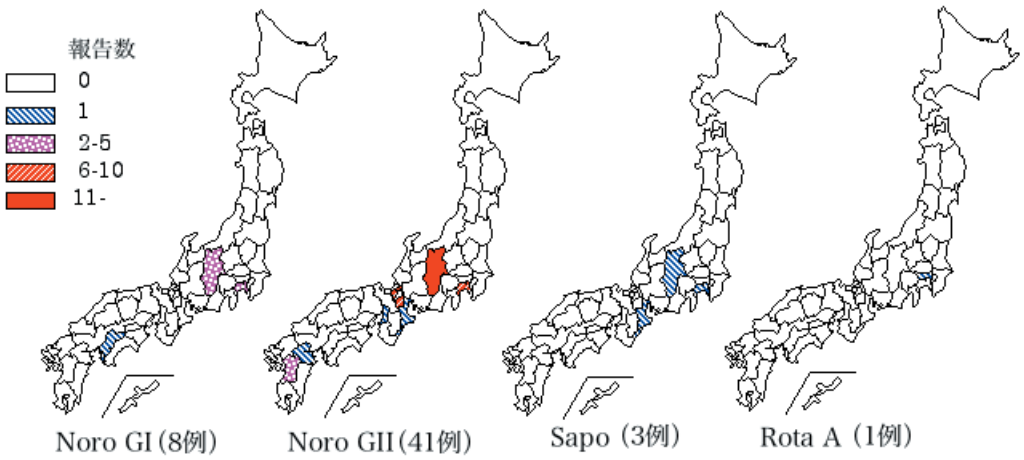
(病原微生物検出情報：2009年12月3日現在報告数)
＊各都道府県市の地方衛生研究所からの分離／検出報告を検体採取週別に図に示した

IASR
Infectious Agents Surveillance Report

◆感染性胃腸炎関連ウイルス　2008/09＆2009/10シーズン

2009/10シーズンに入ってからの病原体個票による報告では、2009年第36～46週にノロウイルスgenogroup（G）I 8件（すべてNT）、GII 41件（うち、GII/1とGII/3 各1件、NT 39件）、サポウイルス3件（すべてNT）、A群ロタウイルス1件（NT）が検出されている。

都道府県別ノロウイルス、サポウイルス、ロタウイルス検出報告状況、2009/10シーズン
（病原微生物検出情報：2009年12月3日現在報告数）

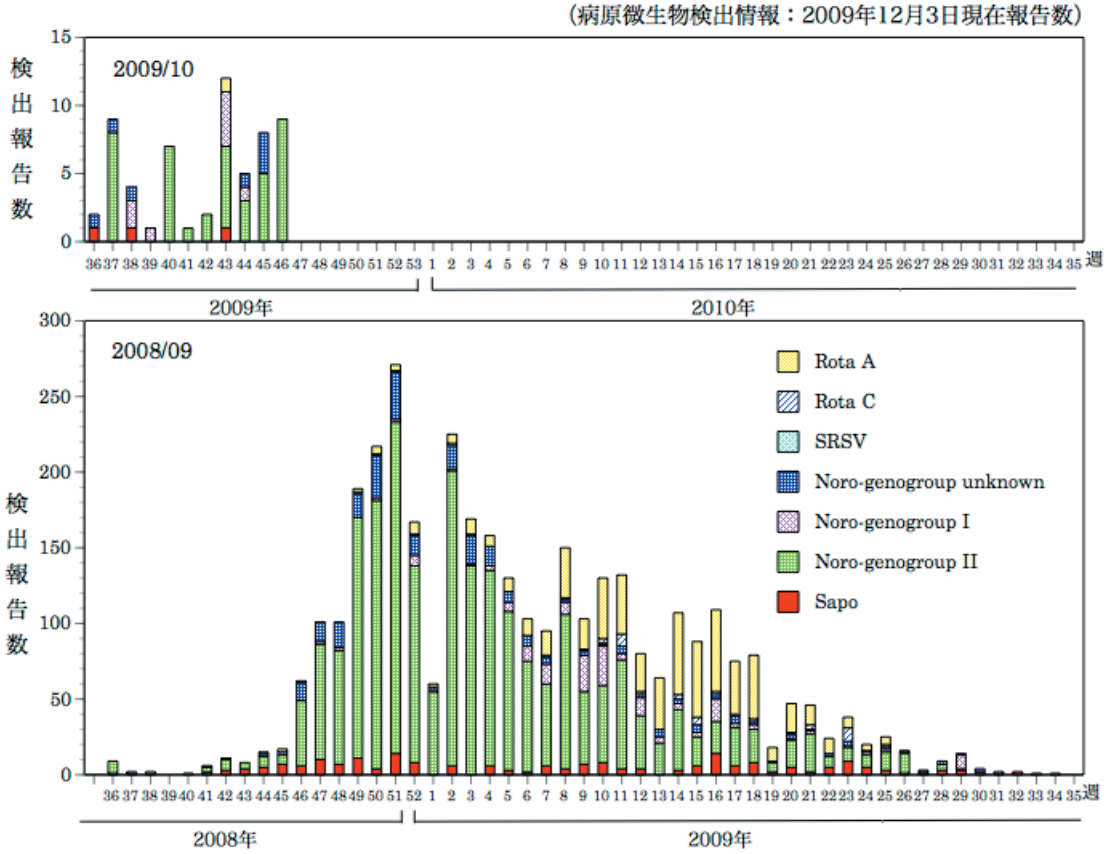


＊各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した

IASR
Infectious Agents Surveillance Report

2008/09シーズンにはノロウイルスGI 173件（うち、GI/1 1件、GI/3 10件、GI/4 21件、GI/7 3件、GI/8 7件、GI/NT 131件）、ノロウイルスGII 2,227件（うち、GII/2 30件、GII/3 10件、GII/4 326件、GII/6 89件、GII/11 1件、GII/12 8件、GII/13 1件、GII/NT 1,762件）、ノロウイルスG不明262件、サポウイルス213件（うち、GI 22件、GII 18件、NT 173件）、A群ロタウイルス579件（うち、G1 47件、G2 4件、G3 71件、G9 3件、NT 454件）、C群ロタウイルス44件、アストロウイルス69件（うち、1型23件、NT 46件）が報告された。

週別ノロウイルス、サポウイルス、ロタウイルス検出報告数、2008/09&2009/10シーズン
（病原微生物検出情報：2009年12月3日現在報告数）



＊各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した

IASR
Infectious Agents Surveillance Report

速報

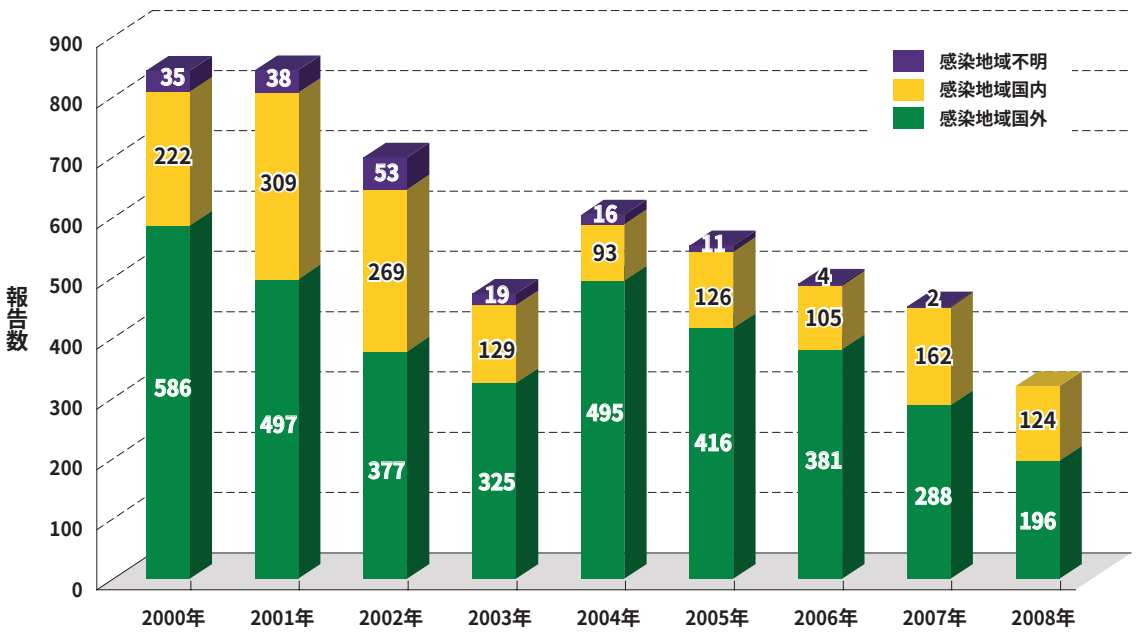
◆細菌性赤痢－2008年（2009年8月10日現在）

細菌性赤痢は通常1～3日の潜伏期の後に、全身倦怠感、悪寒を伴う急激な発熱で発症し、発熱が1～2日続いた後、水様性下痢、腹痛、しぶり腹、膿粘血便などのいわゆる赤痢症状が出現する腸管感染症である。原因菌は*Shigella*属の4つの菌種（*S. dysenteriae*、*S. flexneri*、*S. boydii*、*S. sonnei*）である。菌種は亜群とも呼ばれ、それぞれA群、B群、C群、D群に該当する。通常、*S. dysenteriae*、*S. flexneri* は典型的な赤痢症状を起こすことが多いが、*S. sonnei* では軽度の下痢、あるいは無症状で経過することが多いとされる。

細菌性赤痢は1999年4月施行の感染症法に基づく2類感染症として、疑似症患者、無症状病原体保有者を含む症例の届出が、診断した全ての医師に義務づけられた。2007年4月施行の法改正により、細菌性赤痢は3類感染症に変更され、患者及び無症状病原体保有者が届出対象（疑似症患者は対象外）となった。無症状病原体保有者は、探知された患者と食事や渡航を共にした者や、患者と接触した者に対する保健所の調査などによって発見される。

感染症法のもとで届け出られた細菌性赤痢の過去の年間累積報告数は、2000年843例、2001年844例、2002年699例、2003年473例、2004年604例、2005年553例、2006年490例、2007年452例であった。2008年の報告数（2008年第1～52週に診断されたもの）は320例であり（**図1**）、それらのうち、患者（有症状者）は293例、無症状病原体保有者は27例であった。性別では男性146例、女性174例で、年齢中央値は32歳（1～87歳）であった。確定または推定として報告された感染地域は、国内124例（38.8%）、国外196例（61.3%）であった。死亡例の報告はなかった（但し、届出時点以降での死亡については届出義務がないので十分反映されていない可能性があり、届出時点以降に患者が死亡した場合の追加報告を届出医師や自治体に依頼している）。

図1. 細菌性赤痢の年別感染地域別発生状況



国内感染例:

国内を感染地域とする報告は124例であった。22都道府県から報告があり、福岡県(48例)、東京都(8例)、埼玉県、千葉県、長崎県(各7例)の順に多かった。また、感染地域の都道府県としては、福岡県(50例)、埼玉県、大阪府(各6例)、宮城県、千葉県、長崎県(各5例)の順であった。福岡県を感染地域とするものとして、複数の飲食店における集団感染事例およびそれに関連した散発事例〔*S. sonnei* 計38例(患者33例、無症状病原体保有者5例)〕が報告された。調査の結果、これらの症例はいずれも輸入冷凍生鮮魚介類(イカ)が感染源として疑われた(http://idsc.nih.go.jp/iasr/29/346/kj3461.html)。この他に、福岡以外の複数の県において、*S. sonnei* に感染し、この食品との関連が疑われた散発例が計11例報告された。また福岡県では、この他に保育園に関連した集団発生〔*S. sonnei* 計10例(患者4例、無症状病原体保有者6例)〕があった。

124例の性別は男性47例、女性77例で、年齢中央値は32歳(1～87歳)(男性のみ35歳、女性のみ29歳)であった。年齢群別では、10歳未満21例、10代16例、20代18例、30代19例、40代11例、50代9例、60代12例、70代13例、80代5例であり、10歳未満、30代、20代の順に多かった。10歳未満には保育園関連集団発生、30代には保育園関連集団発生及び輸入冷凍生鮮魚介類関連の集団発生による報告が含まれている(**図2**)。

発症月は、集団発生の影響を受け7～8月が多いが、集団発生を除くと、1月が12例で比較的多かった(**図3**)。

検出された菌種は、*S. sonnei* 92例、*S. flexneri* 32例であった(**図4**)。

国外感染例:

国外を感染地域とする報告は196例であった。感染地域別では、従来と同様にアジアが156例(79.6%)と際立って多く、次いでアフリカ24例(12.2%)であった(**図5**)。国別では、アジアのインド、インドネシア、カンボジアの順に多いが、これに次いでアフリカのエジプトが多かった(**表1**)。報告数の多い感染地域や感染国の傾向は、従来とほぼ同様であった。

196例の性別は男性99例、女性97例で、年齢中央値は32.5歳(1～79歳)(男性のみ35歳、女性のみ31歳)であった。年齢群別では、10歳未満4例、10代1例、20代71例、30代51例、40代21例、50代28例、60代17例、70代3例であり、特に20代、30代が多い傾向は従来どおりであった(**図2**)。

発症月は、6月と11月(各19例)、1月、2月、9月(各16例)が多く、従来認められた長期休暇を反映した季節性は、2008年は認められなかった(**図3**)。

検出された菌種は、*S. sonnei* 132例、*S. flexneri* 40例、*S. boydii* 16例、*S. dysenteriae* 4例、菌種不明4例であった(**図4**)。日本を含む感染国毎の報告数を、菌種別に表に示した(**表1**)。

国外感染例の診断及び報告数の増減に関しては、現地における流行状況や流行地への渡航者数など様々な要因の関与が考えられるが、検疫法改正によりコレラが検疫感染症でなくなったことから、2007年6月以降は、検疫所で下痢などの申し出のあった者に対する検便が実施されなくなった。有症状者であっても、症状が軽いなどの理由で入国後に医療機関を受診しない者もいることが予測されるので、この点も報告数減少に影響する一要因として考慮する必要があると考えられる。届出施設の集計が可能となった2006年4月以降の報告についてみると、検疫所からの届出は、2006年(4月～)は国外感染例として報告された282例中105例、2007年は287例中81例(うち1～5月が71例)、2008年は196例中1例もなかった。

図2. 細菌性赤痢の性別・年齢群別・感染地域別報告数（2008年）

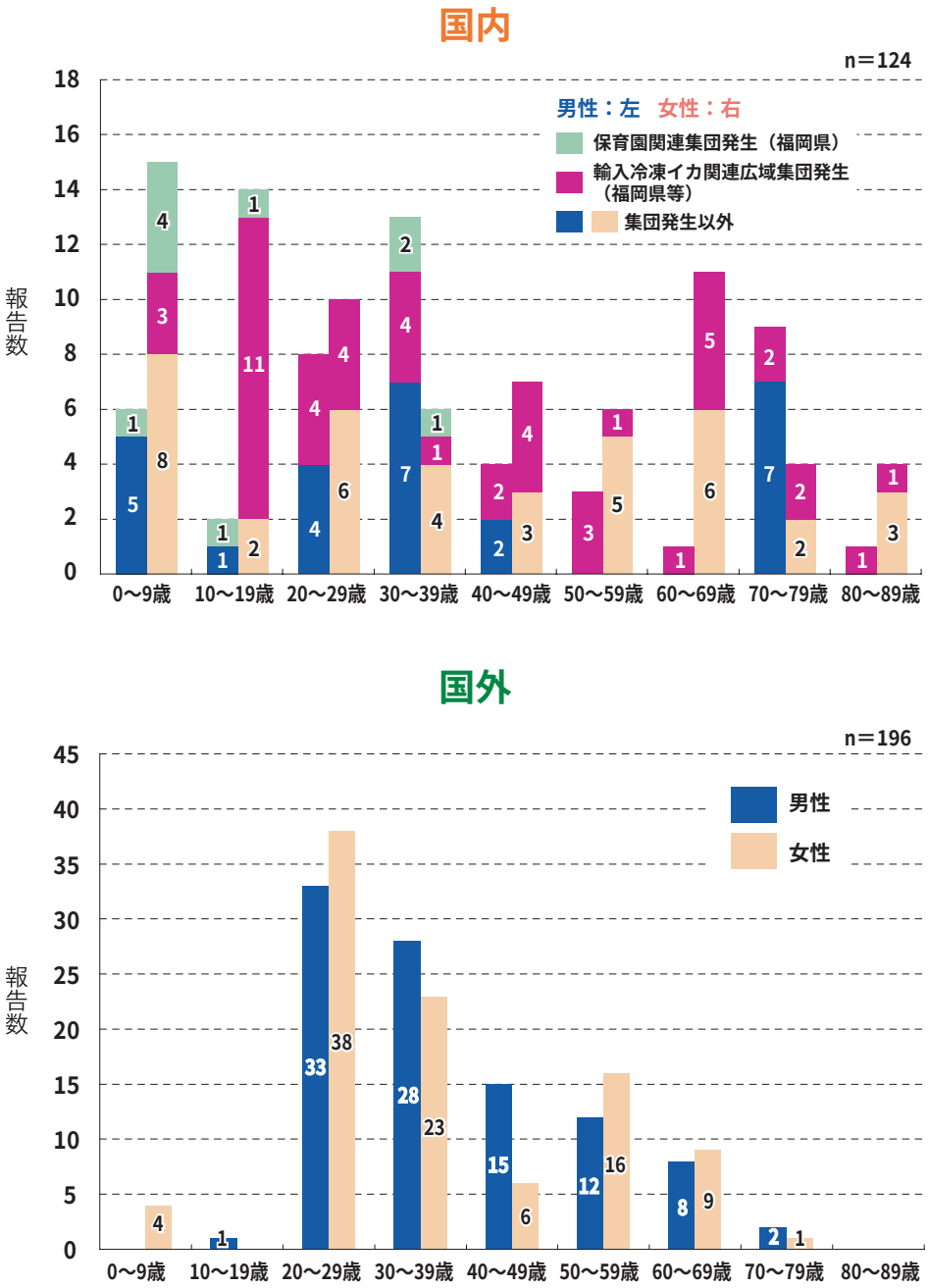
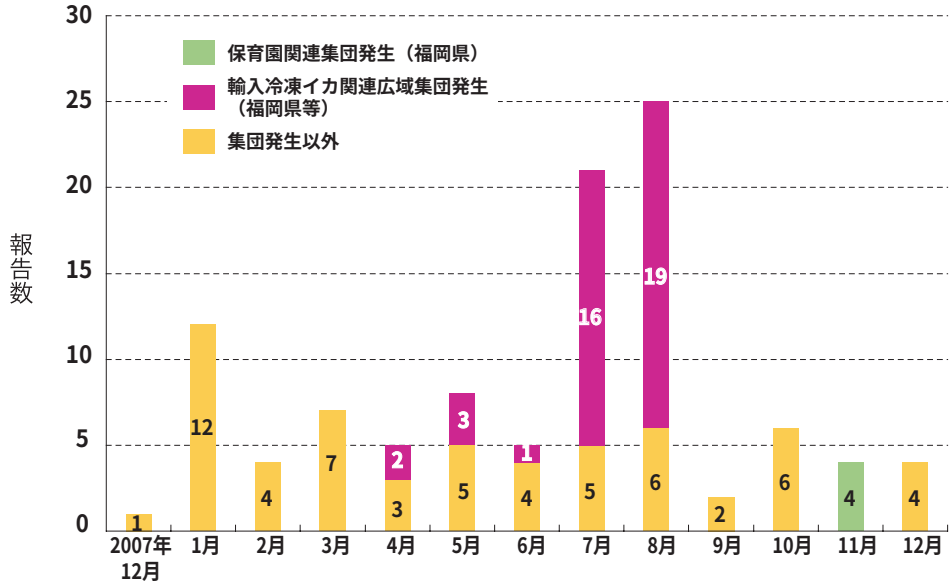


図3. 細菌性赤痢の感染地域別・発症月別報告数（2008年）

国内　n=104　（無症状病原体保有者、発症月不明計20 例を除く）



国外　n=162　（無症状病原体保有者、発症月不明計34 例を除く）

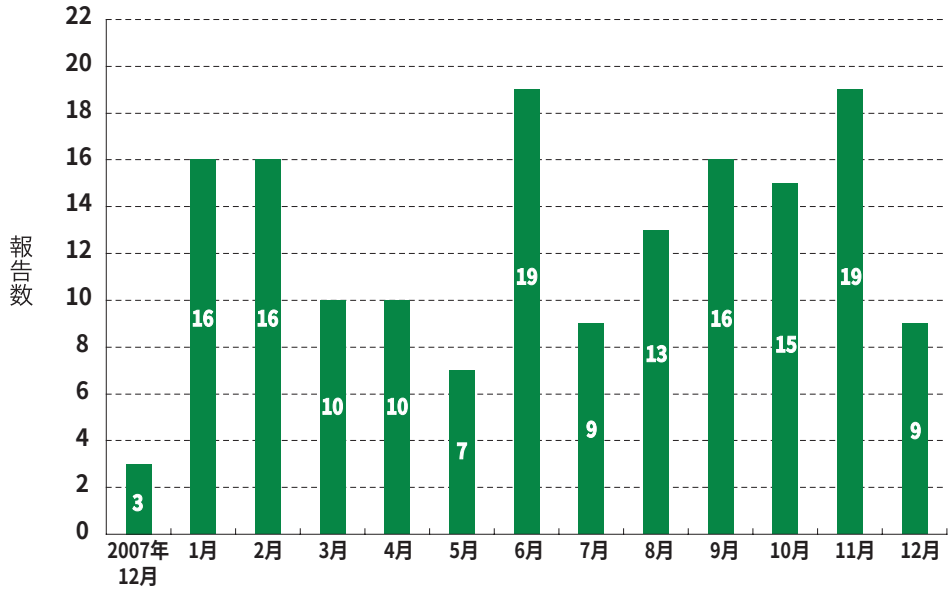


図4. 細菌性赤痢の感染地域別にみた菌種割合（2008年）

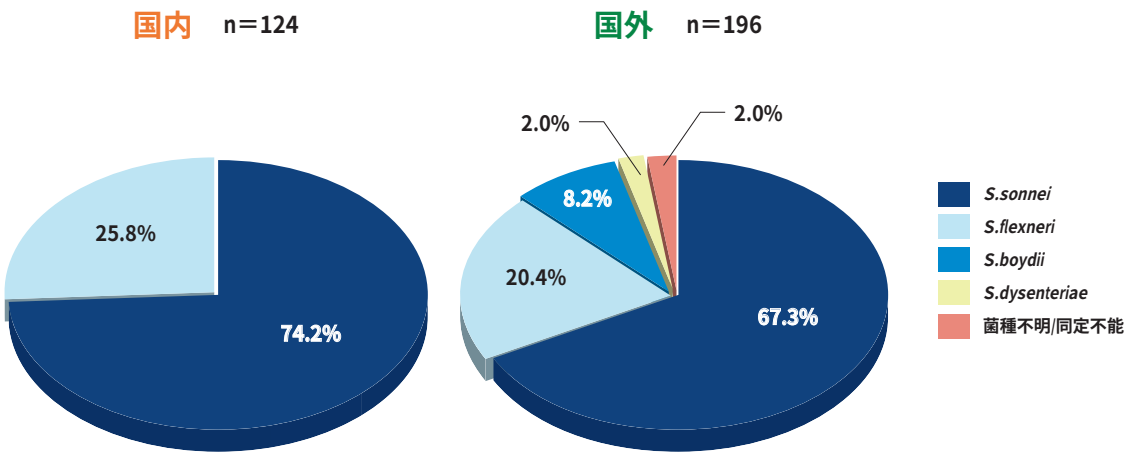


図5. 細菌性赤痢の国外感染例の感染地域分布（2008年）

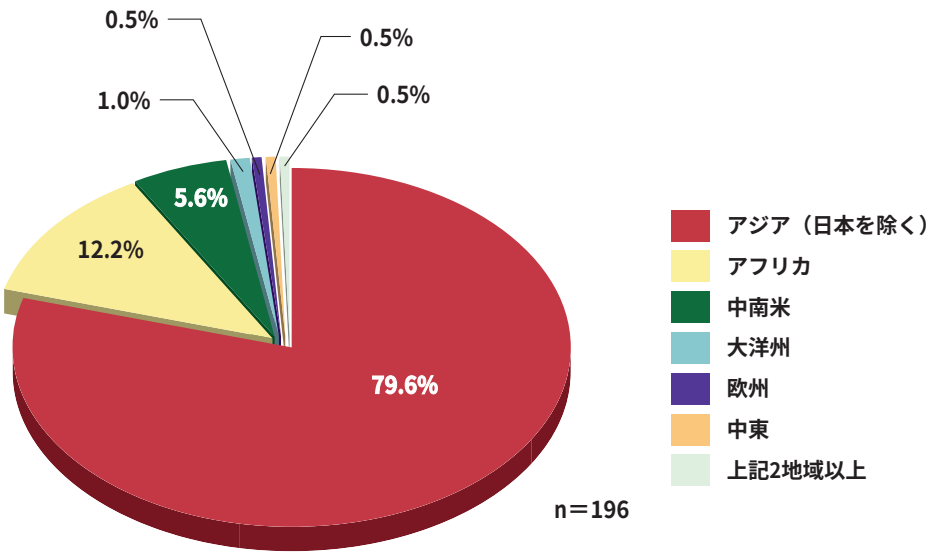


表1.　細菌性赤痢の感染地域・感染国別にみた菌種別報告数（2008年）

n=320

		S.dysenteriae n=4	*S.flexneri* n=72	*S.boydii* n=16	*S.sonnei* n=224	菌種不明/同定不能 n=4	計 n=320
国内		0	32	0	92	0	124
国外		4	40	16	132	4	196
アジア	アジア（日本を除く）	3	30	15	105	3	156
	インド	2	15（16）	4	23（27）	2	46（51）
	インドネシア		5（6）		23（24）		28（30）
	カンボジア		2（3）	8（9）	10（15）		20（27）
	中国		1		12		13
	ベトナム		1	0（1）	7(10)		8（12）
	フィリピン		2		3		5
	タイ		0（1）		7(12)		7（13）
	ネパール	1		1	5(10)	1	8（13）
	バングラデシュ			1	1(2)		2（3）
	大韓民国		2				2
	マレーシア				1		1
	ミャンマー				1		1
	シンガポール		0（1）				0（1）
	ラオス				0（1）		0（1）
	東南アジア				1		1
アフリカ	アフリカ計	1	5	1	17	0	24
	エジプト		5	1	13		19
	マリ				2		2
	ガーナ				1		1
	ギニア				1		1
	スーダン	1					1
中南米	中南米計	0	4	0	7	0	11
	メキシコ				4		4
	パナマ		2				2
	ペルー		1		1		2
	キューバ				1		1
	パラグアイ		1				1
	エルサルバドル				1		1
大洋州	大洋州計	0	1	0	1	0	2
	バヌアツ		1				1
	フィジー				1		1
中東	中東計	0	0	0	0	1	1
	トルコ					1	1
欧州	欧州計	0	0	0	1	0	1
	ウズベキスタン				1		1
その他（上記2地域以上および国不明）	その他計	0	0	0	1	0	1
	エジプト/トルコ				1		1

*国ごとの集計において、（）外の数値はその国のみを感染地とする報告数、（）内の数値はその国のみとその国を含む複数国を感染地とする報告数の合計

症状:

患者293例について、報告された症状をみた。届出票にあらかじめ記載されている症状では、下痢276例(94.2%)、発熱198例(67.6%)、腹痛181例(61.8%)、しぶり腹47例(16.0%)、膿粘血便46例(15.7%)であった(**表2**)。膿粘血便は、原因菌種が*S. flexneri* の症例(33.3%)で*S. sonnei* の症例(10.4%)に比して高率であった。また、その他の症状として自由記載されていたものでは、嘔気・嘔吐18例(6.1%)、頭痛9例(3.1%)が多かった。

患者293例で検出された菌種は、*S. sonnei* 201例(同菌種総数224例の89.7%)、*S. flexneri* 69例(同72例の95.8%)、*S. boydii* 15例(同16例の93.8%)、*S. dysenteriae* 4例(同4例中の100%)、菌種不明または同定不能4例であり、一方、無症状病原体保有者27例では、*S. sonnei* 23例(同224例の10.3%)、*S. flexneri* 3例(同72例の4.2%)、*S. boydii* 1例(同16例の6.3%)であった。

赤痢菌は腸管出血性大腸菌と同様に、微量の菌により感染が成立するため、感染が拡大しやすく、健康被害も生じやすい。特に小児や高齢者では重症化しやすいので注意が必要である。近年日本で発生している細菌性赤痢の過半数は国外感染であり、国内感染についてはそれらの国外感染者からの二次感染や輸入食品の汚染による感染が推測されている。細菌性赤痢の感染予防策としては、充分な加熱調理や石鹸による手洗いの励行が基本である。渡航に際しては、渡航先の流行状況を把握すると共に、流行地へ渡航する場合には生水、氷、生の魚介類、生野菜、カットフルーツなどの喫食を避けることが肝要である。さらに二次感染を防ぐためには、患者や無症状病原体保有者を早期に探知して治療し、排菌しなくなったことを確認する必要がある。

表2. 細菌性赤痢の症状の菌種別報告数(2008年)

n=293

	S.dysenteriae n=4	*S.flexneri* n=69	*S.boydii* n=15	*S.sonnei* n=201	菌種不明/同定不能 n=4	総数 n=293
下痢	2	61	15	194	4	276
発熱	1	42	10	141	4	198
腹痛	3	40	6	128	4	181
しぶり腹(テネスムス)	0	17	1	29	0	47
膿粘血便	1	23	0	21	1	46
嘔気・嘔吐	0	1	0,	17	0	18
頭痛	0	0	0	9	0	9

複数回答あり

(補)細菌性赤痢のサルの報告

細菌性赤痢はサルの間にも感染がみられ、ヒトへの感染源となり得るため、2004年10月1日施行の感染症法施行令の改正により、細菌性赤痢のサルを診断した獣医師に届出が義務づけられた。2004年には報告はなく、2005年に5都道府県から45例、2006年に6都道府県から45例、2007年には3都道府県から51例、2008年には4都道府県から29例の報告(2009年11月11日現在)があった。報告されたサルのほとんどは輸入後の検疫(法定検疫または自主検疫)によって発見されたものである。

◆新型インフルエンザ感染が証明された劇症型溶血性レンサ球菌感染症の１例－堺市

はじめに

2009年5月に初めて国内で新型インフルエンザの患者の報告があり、それ以後流行は治まることなく全国で今なお流行がまん延している。また、肺炎や脳症による重症例や死亡例の報告もされている。当市においても7月より本格的な流行が始まり、現在（第42週）、定点当たり報告数31.3と警報レベルの流行状況にある。

今回、我々は新型インフルエンザ感染が証明された、劇症型溶血性レンサ球菌感染症を経験したので報告する。

［症例］　42歳 女性

［基礎疾患］　高血圧症があるが、程度および治療歴は不明である。

［家族歴］　長男の学校で新型インフルエンザが流行しており、長男も9月28日から37℃台の微熱が出現していたが、インフルエンザ迅速検査はA、Bともに陰性であった。

［海外渡航歴］　6月にハワイへ旅行に行っている。

［現病歴］

9月29日（第1病日）より鼻汁、咽頭痛、咳、倦怠感が出現し、その夜に発熱が認められた。9月30日（第2病日）の朝に38℃台の発熱、右腰痛が出現したため、近医を受診した。その際、インフルエンザ迅速検査を実施されたが結果はA、Bともに陰性であった。また、この時、解熱鎮痛薬を処方されたが、オセルタミビルおよび抗菌薬の処方はされなかった。

10月1日（第3病日）は37℃台の微熱であったが、右腰痛が持続していたため、10月2日（第4病日）近医を再受診した。帰宅後、夕方に3回嘔吐、右腰痛だけでなく全身に痛みが広がり、高熱が続くため、その夜、市内の病院に救急受診し、緊急入院となった。入院時、意識は清明であったが、全身倦怠感は強く、肝脾腫が認められた。また、腰から下部に筋肉痛が認められ、特に大殿筋周辺から大腿部、下腿部の筋肉痛が強かった。

［入院時検査所見］

1）血液検査（**表1**）

2）尿検査（**表2**）

3）インフルエンザ迅速検査はA、Bとも陰性

4）胸部X線検査：肺炎等の異常を認めず

（表1）

末梢血液検査

WBC	6660/μl
RBC	491万/μl
Hb	10.8g/dl
PLT	14.4万/μl

生化学検査

AST	208 IU/l	CPK	235 IU/l
ALT	222 IU/l	Na	132meq/l
LDH	366 IU/l	Cl	100meq/l
D-Bil	1.85mg/dl	K	3.3meq/l
T-Bil	2.94mg/dl	BUN	18.6mg/dl
TP	6.2g/dl	Cr	0.82mg/dl
Alb	2.7g/dl	CRP	14.3mg/dl

凝固・線溶系検査

PT	43.4 sec
APTT	52.3 sec
Fib	334.7mg/dl
Dダイマー	30μg/ml

（表2）

色調	橙褐色
蛋白	2＋
潜血	3＋
WBC	2＋
ウロビリ	2＋
ビリルビン	3＋

［入院後経過］

入院時、腎盂腎炎、肝炎を疑い治療を開始。10月3日(第5病日)に関節痛および下肢痛はさらに増強、上肢にも筋肉痛や把握痛も認められるようになった。また、痛みに伴い冷汗、唸り声をあげる状態が続いていた。疼痛に対してNSAID系薬剤やペンタゾシンを使用するも効果はなかった。10月3日に血液培養検査を実施、またインフルエンザ迅速検査はA、Bともに陰性であったが、当市の衛生研究所にリアルタイムRT-PCR検査のため鼻咽頭ぬぐい液検体を提出した。一方、新型インフルエンザの感染も完全に否定できないことから、午後よりオセルタミビルの投与を開始した。また血小板減少、凝固・線溶系検査の異常も認められていたため、DIC（播種性血管内凝固症候群）の治療および筋炎に対してステロイド、抗菌薬を開始した。疼痛に関しては塩酸モルヒネに変更したが疼痛の改善は乏しかった。15時頃より大腿、下腿に網状の皮疹が出現、17時頃には腹部にも皮疹が認められた。その後次第に無尿となり、腎不全となったため人工透析を開始した。しかし、その後ショック状態に陥り血圧低下、意識レベルの低下（Japan Coma Scale：10）、呼吸状態も悪化したため、人工呼吸器による呼吸管理が開始された。10月4日(第6病日)に、再度インフルエンザ迅速検査を実施するもA、Bとも陰性、血液検査ではCPK：154,860 IU/lと筋肉系酵素は高値となり、横紋筋融解の進行があった。患者はその後治療に反応することなく、敗血症による多臓器不全にて死亡された。

入院時に採取した血液培養からA群溶連菌が検出された。また、10月3日に採取した鼻咽頭ぬぐい液のRT-PCR検査よりAH1pdm HA遺伝子が検出され、新型インフルエンザA/H1N1感染が判明した。

［考察］

今回の症例は、新型インフルエンザと劇症型溶血性レンサ球菌感染症が合併したものであるが、直接の死因は劇症型溶血性レンサ球菌感染症による多臓器不全と考えられる。しかしながら、新型インフルエンザウイルスが、どのような経緯で感染し、末期に到るまで宿主にどのような影響を及ぼしたかは不明である。

症例は、計3回のインフルエンザ迅速検査が実施され、A型、B型いずれも陰性であった。死亡直前に実施されたリアルタイムRT-PCR検査で新型インフルエンザウイルス遺伝子が証明されたが、PCR反応の立ち上がりは遅く、ウイルス量が少ないことが示唆された。また、この検体を用いてウイルス分離を3代培養まで試みたがCPEは現れなかった。従ってこの症例が、インフルエンザウイルスに感染し体内でウイルスが増殖していたのかどうかは不明と言わざるを得ない。しかし、このように重症患者の中には、インフルエンザウイルスに罹患しているにも関わらずウイルスの増殖が遅く(乏しく)、インフルエンザ症状の乏しい症例が紛れている可能性はあり得ると思われる。このような症例定義については今後の位置づけの論議が必要であろう。また、たとえインフルエンザウイルスが感染していたとしても、それが症状の進行、重症度にどのような影響を与えているのか、重症患者でのインフルエンザウイルス検査の需要は増加するかもしれないが、真の病状解明には、このような症例の蓄積と詳細な解析が今後必要と考える。

堺市保健所医療対策課　藤井史敏、前野敏也
堺市立病院　藤本卓司
堺市衛生研究所　内野清子、三好龍也、高橋幸三、松尾光子、吉田永祥、田中智之

（IASR 2010年1月号掲載予定記事）

感染症の話

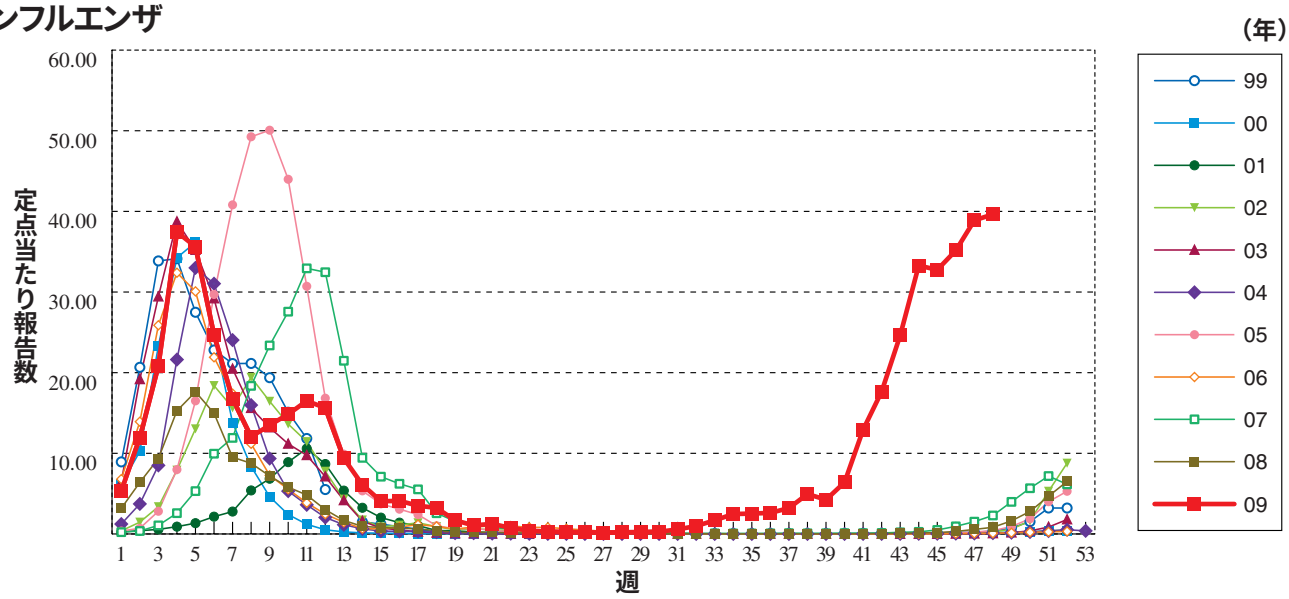
****

今週はお休みさせていただきます。
「感染症の話」過去の掲載分については
http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/index.html
でご覧いただけます。

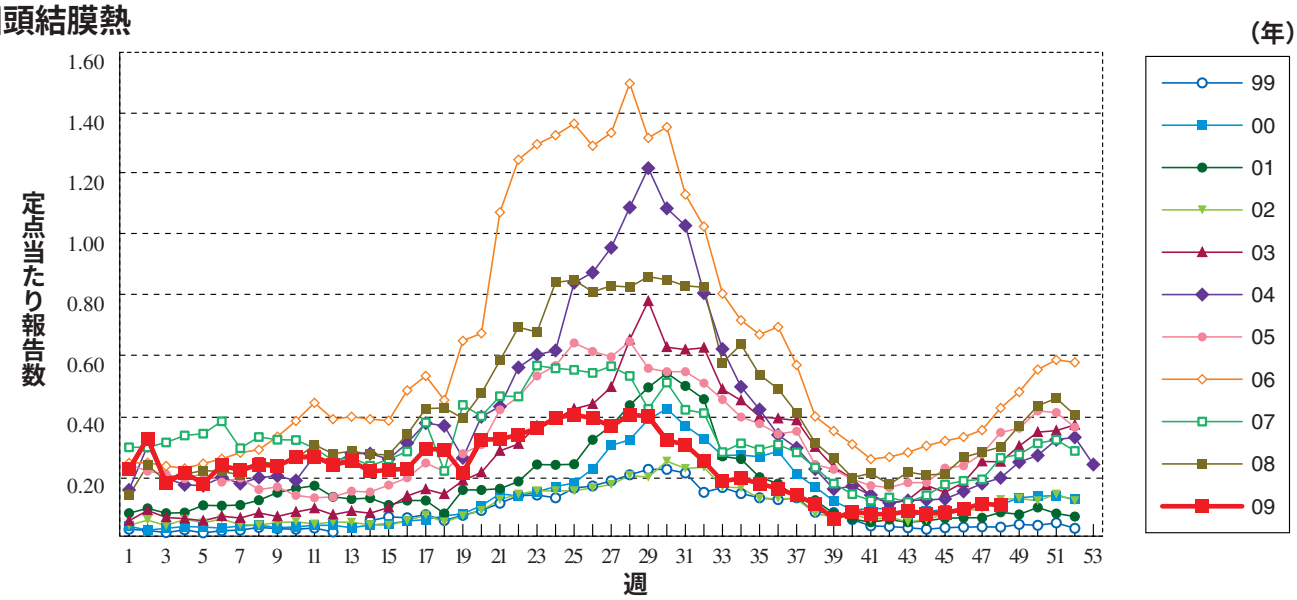
****

グラフ総覧（48週）

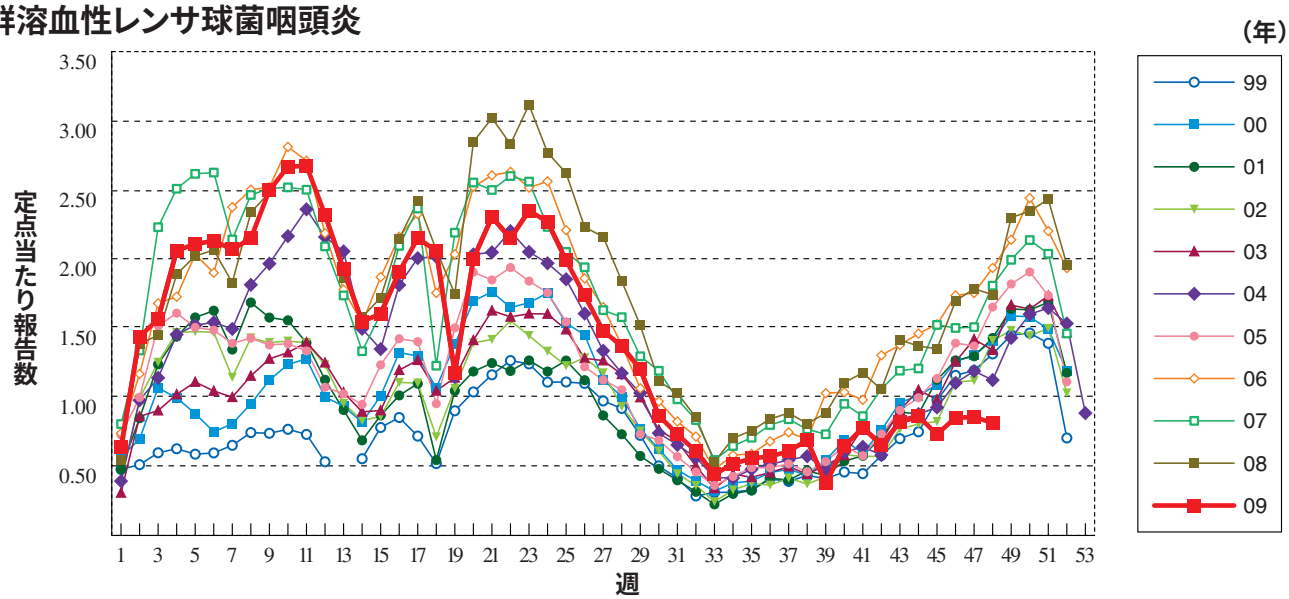
インフルエンザ



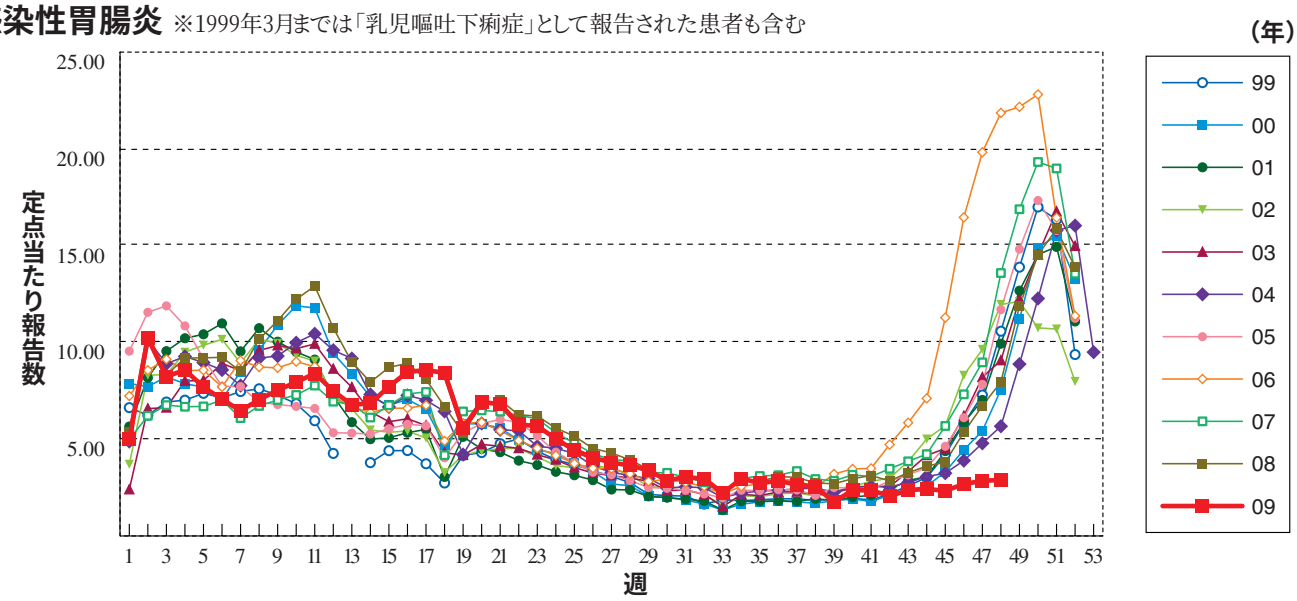
咽頭結膜熱



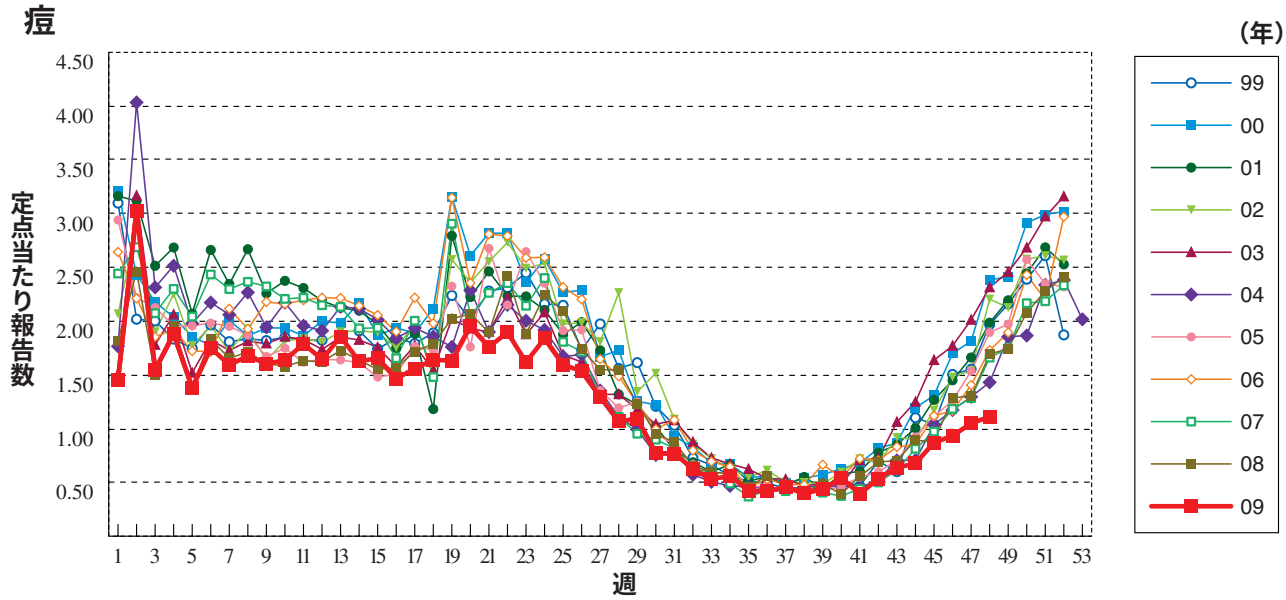
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



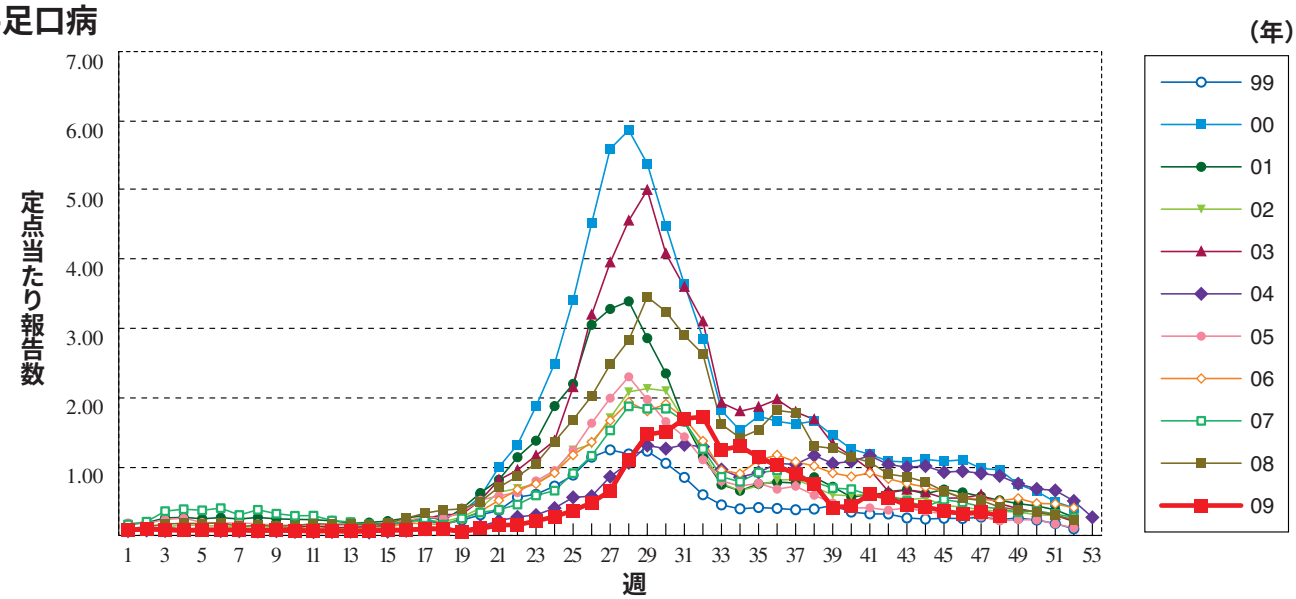
感染性胃腸炎 ※1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



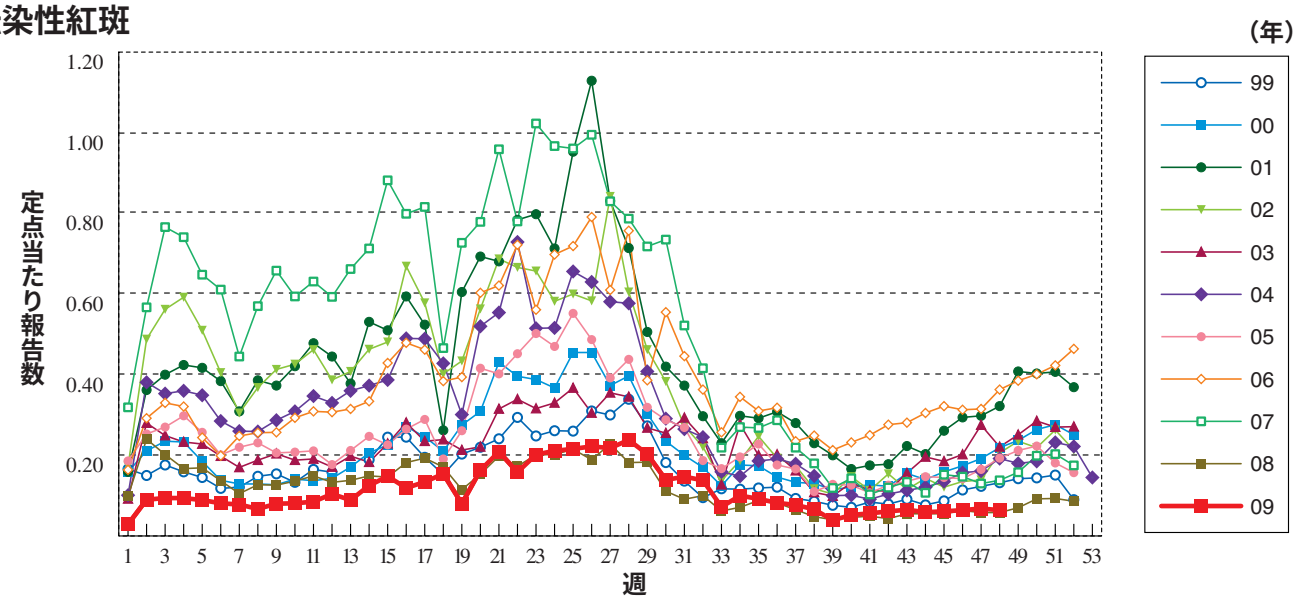
水　痘



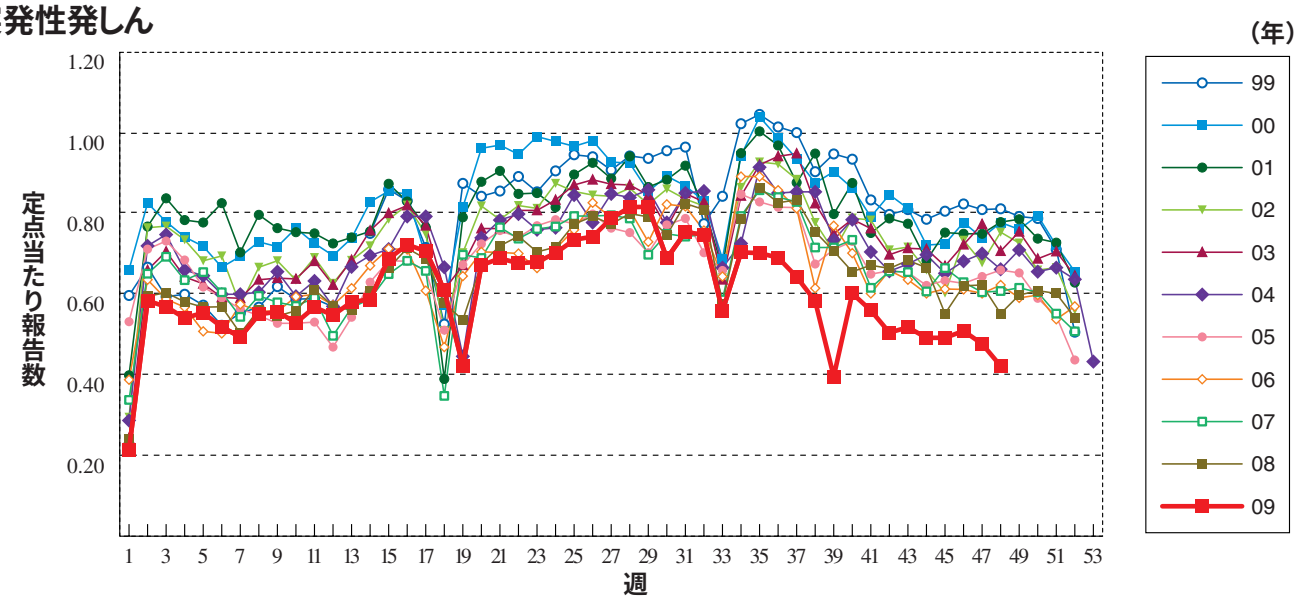
手足口病



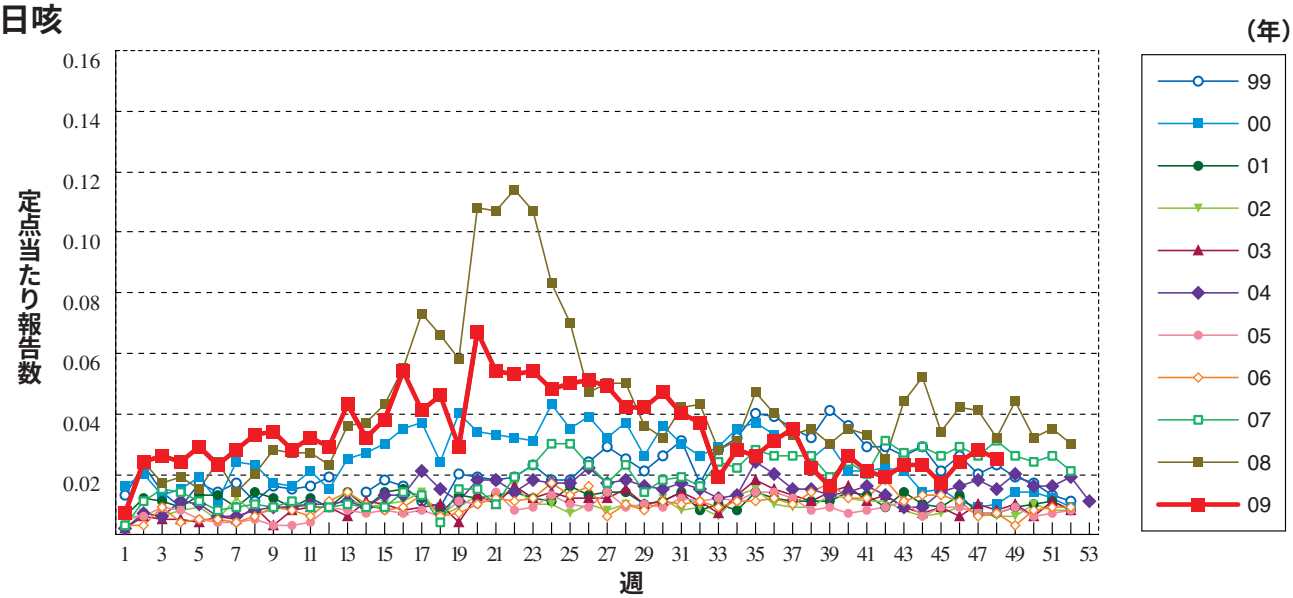
伝染性紅斑



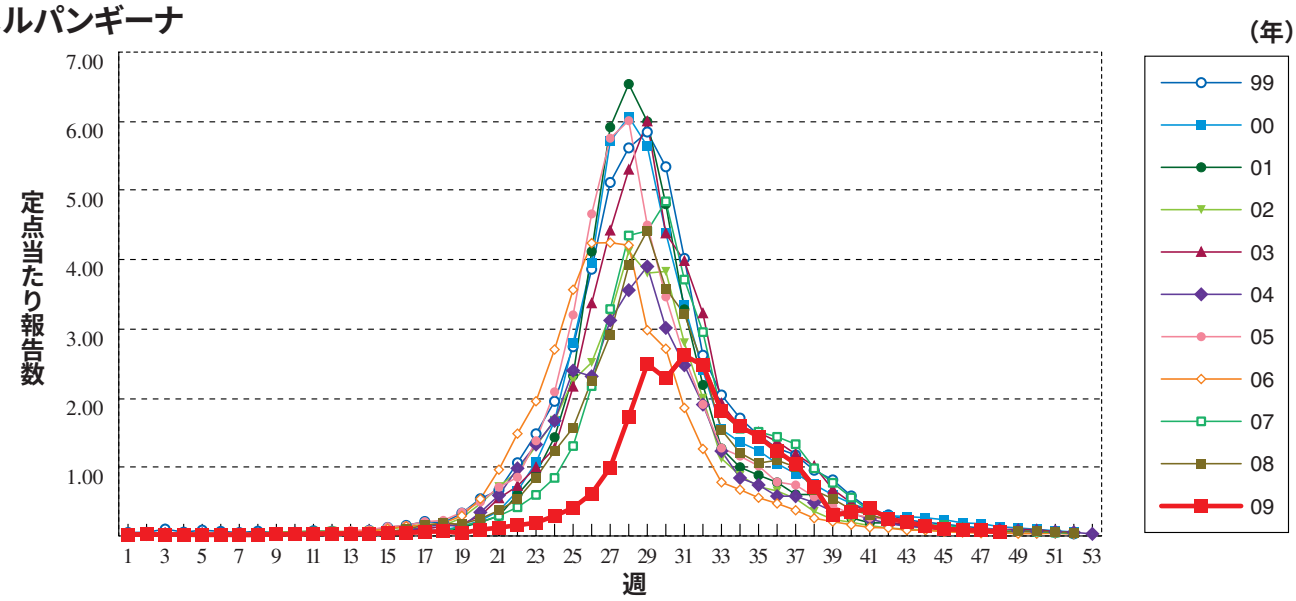
突発性発しん



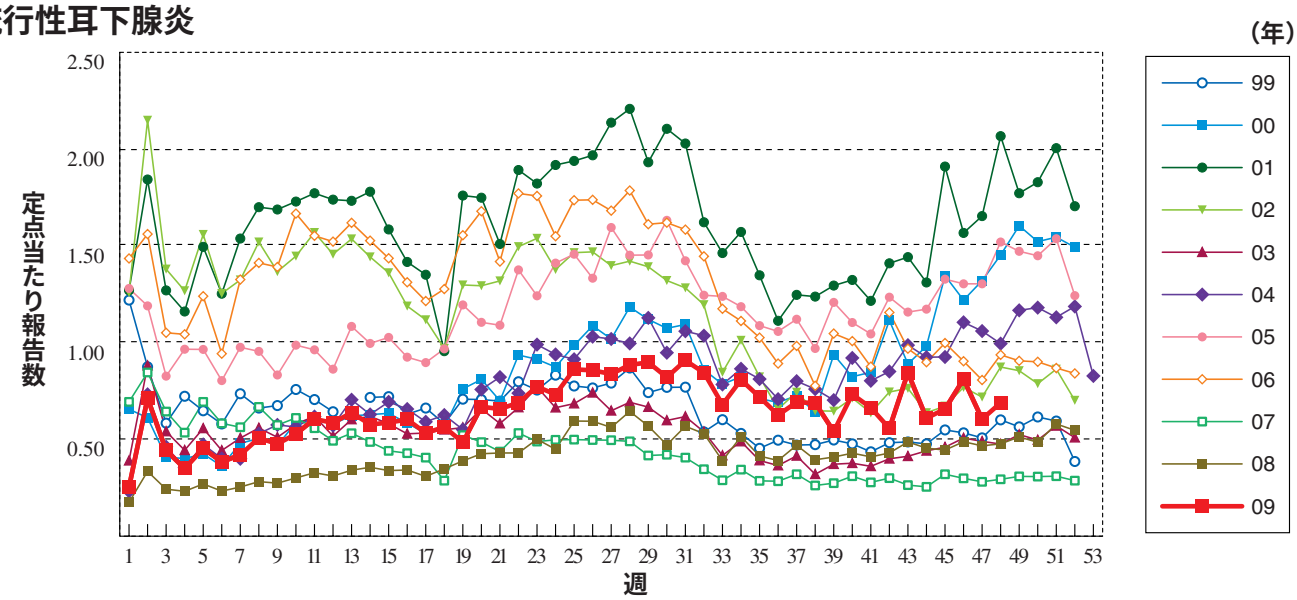
百日咳



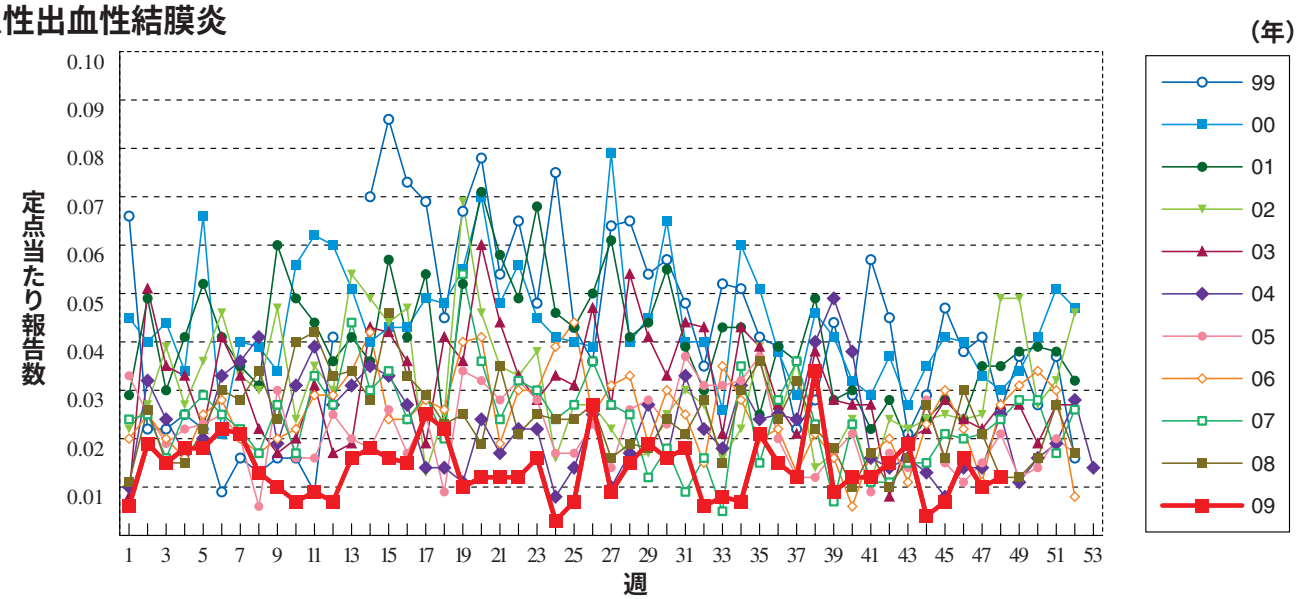
ヘルパンギーナ



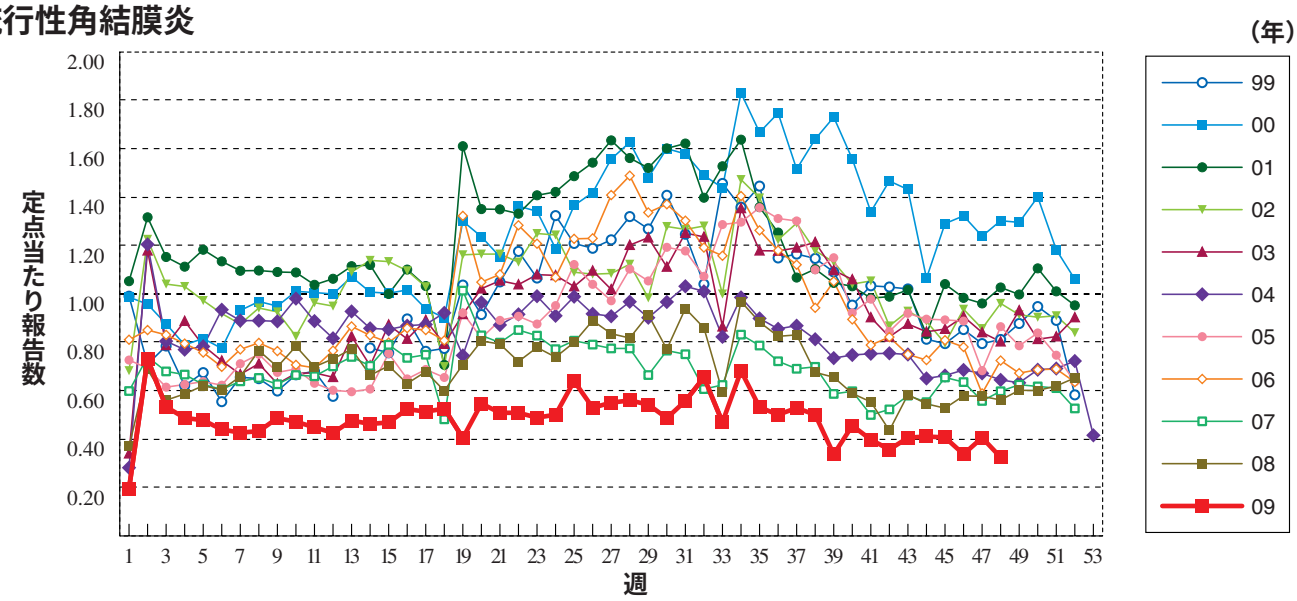
流行性耳下腺炎



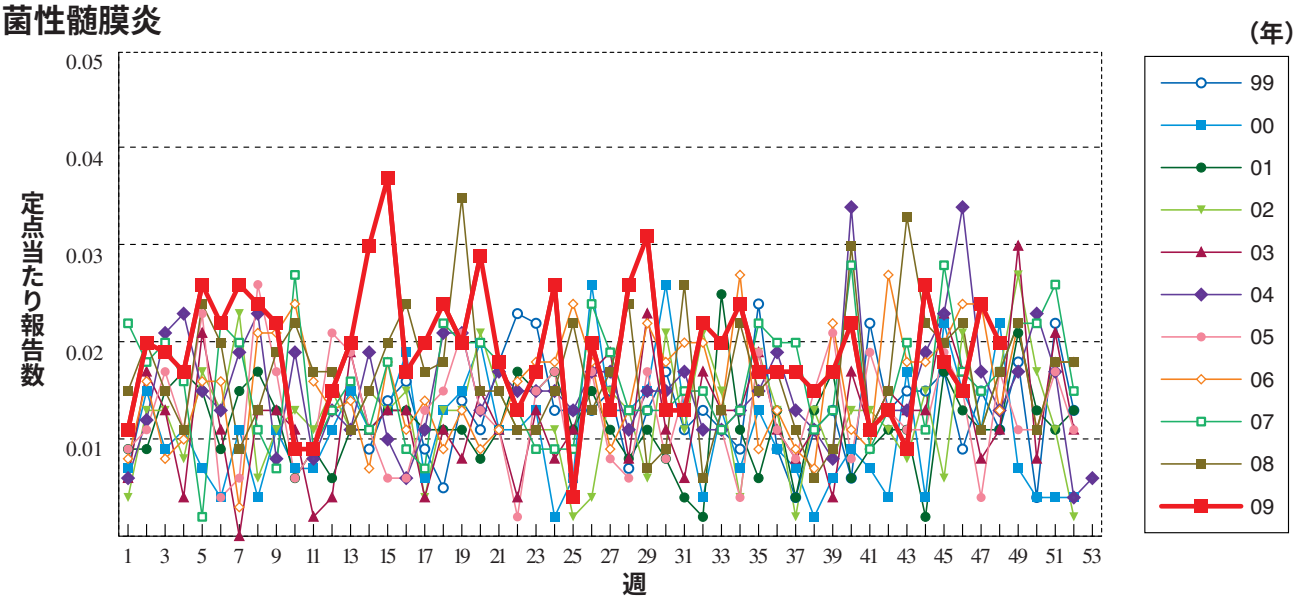
急性出血性結膜炎



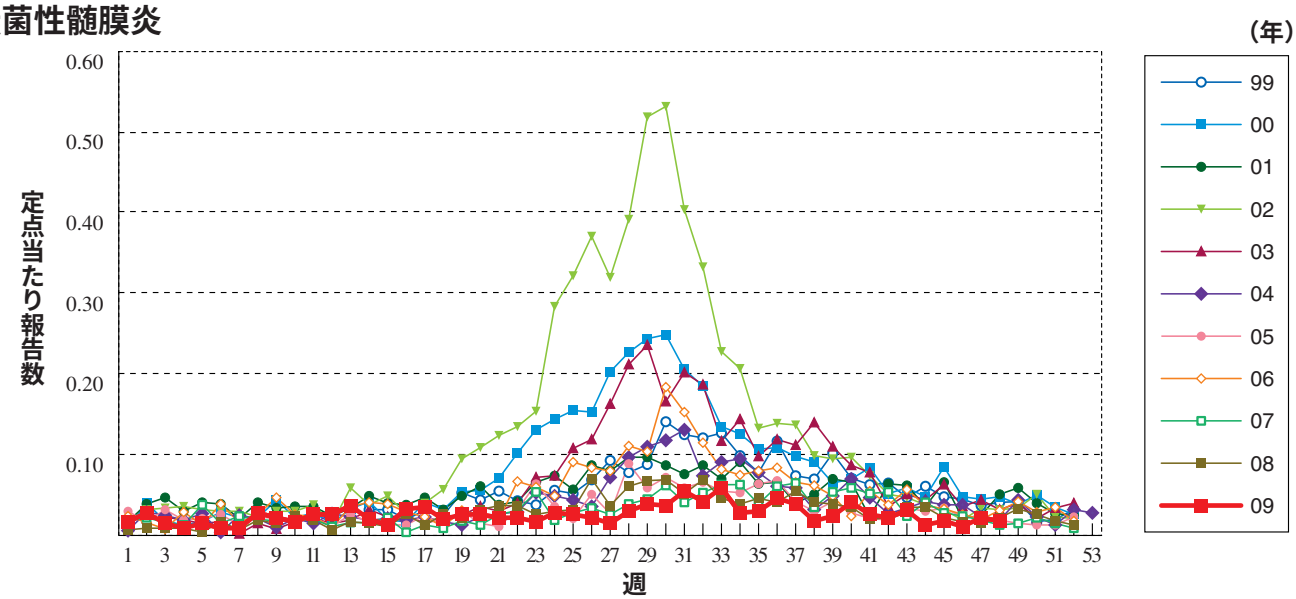
流行性角結膜炎



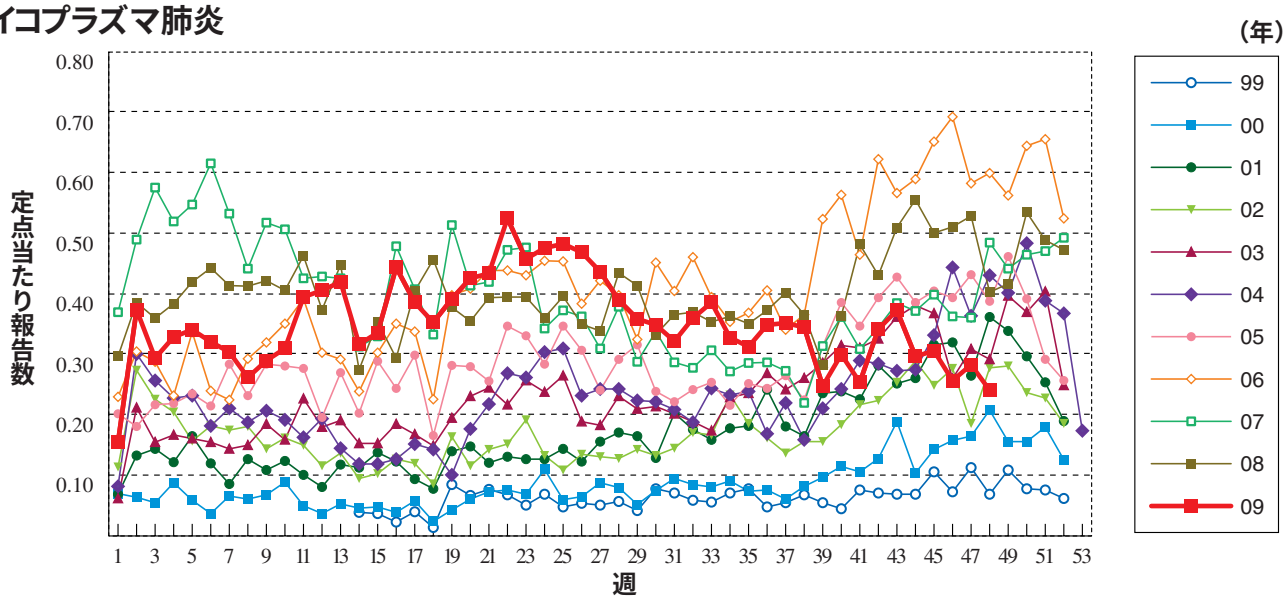
細菌性髄膜炎



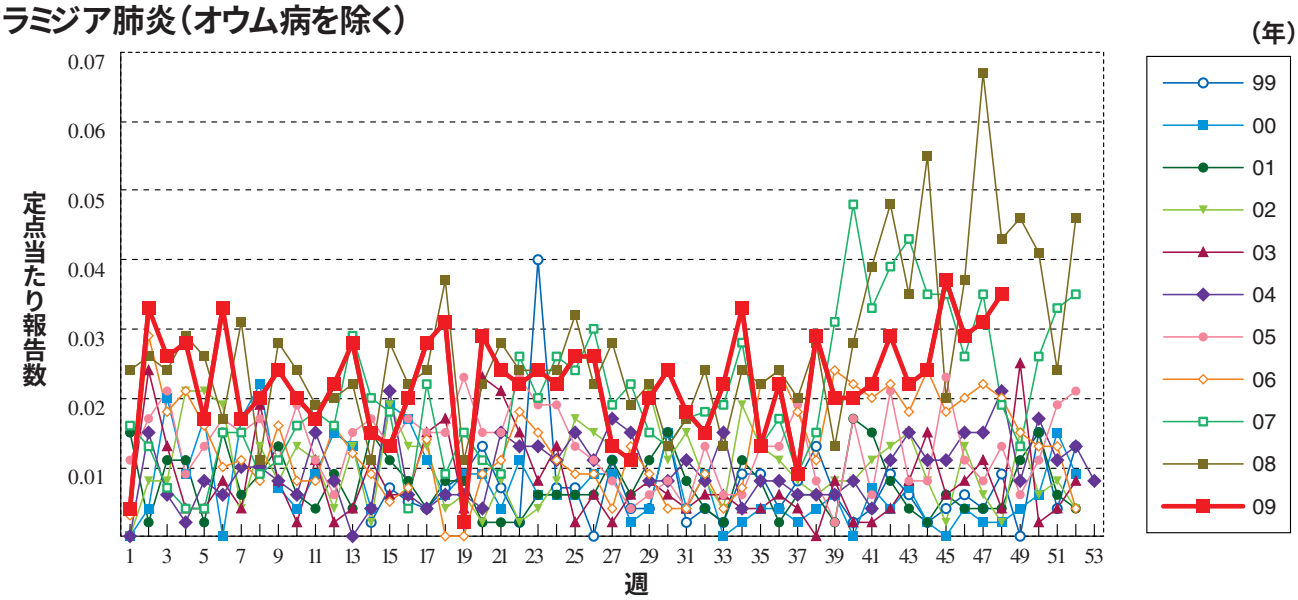
無菌性髄膜炎



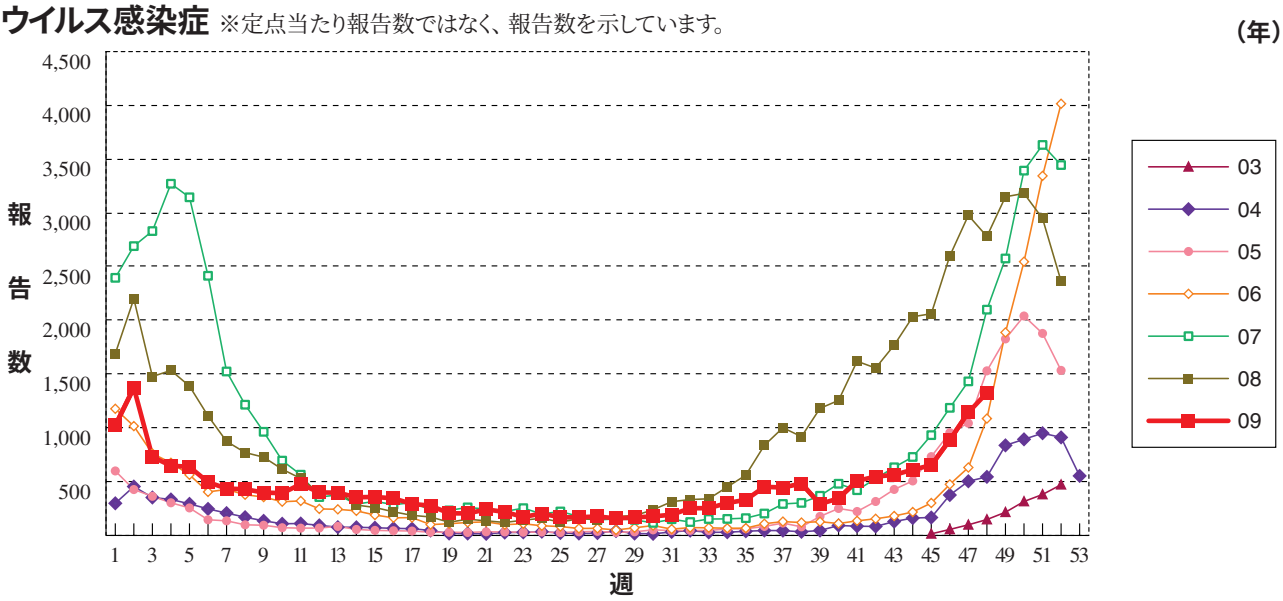
マイコプラズマ肺炎



クラミジア肺炎（オウム病を除く）



RSウイルス感染症 ※定点当たり報告数ではなく、報告数を示しています。



48週のデータ

注）表中の報告数は12月2日集計分であり、その後の報告は次週以降の累積に反映されます。
新型インフルエンザは掲載していません。

報告数・累積報告数，疾病・都道府県別　　2009年48週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		痘そう		南米出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		急性灰白髄炎		結核	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総　数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	238	23710
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	671
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	299
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	175
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	289
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	139
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	169
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	256
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	455
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	268
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	181
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16	1096
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18	1302
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	37	3675
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	32	1715
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	303
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	180
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	169
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	140
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	89
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	263
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	472
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	590
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	27	1862
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	334
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	232
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	609
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1337
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	836
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	316
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	248
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	85
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	149
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	321
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	541
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	260
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	189
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	204
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	249
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	145
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	982
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	177
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	331
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	341
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	238
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	233
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	355
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	240

*病原体がSARSコロナウイルスであるものに限る。

報告数・累積報告数，疾病・都道府県別 2009年48週

	ジフテリア		重症急性呼吸器症候群*		鳥インフルエンザ(H5N1)		コレラ		細菌性赤痢		腸管出血性大腸菌感染症		腸チフス		パラチフス		E型肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総　数	-	-	-	-	-	-	-	16	2	168	35	3668	1	28	-	24	-	47
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	85	-	1	-	-	-	16
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	34	-	1	-	-	-	1
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1	58	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	95	-	-	-	1	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	26	-	-	-	-	-	1
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	70	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	34	-	-	-	-	-	1
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	29	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	27	-	1	-	-	-	2
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	64	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	3	3	123	-	1	-	-	-	1
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	10	2	146	-	1	-	-	-	3
東京都	-	-	-	-	-	-	-	3	1	44	3	300	-	10	-	11	-	6
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	19	1	150	1	3	-	3	-	2
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	55	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	31	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	3	93	-	-	-	-	-	1
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	41	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	6	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	31	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	47	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	60	-	1	-	2	-	2
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	13	3	198	-	2	-	3	-	2
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	33	-	-	-	-	-	2
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	2	26	-	-	-	-	-	1
京都府	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	1	107	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	1	-	5	2	176	-	2	-	1	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	173	-	2	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	49	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	24	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	11	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	98	-	2	-	-	-	1
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	98	-	-	-	1	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	39	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	15	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	51	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	68	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	19	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14	2	318	-	-	-	-	-	1
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	186	-	-	-	1	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	46	-	-	-	-	-	1
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	45	-	-	-	1	-	2
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	109	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	57	-	1	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	70	-	-	-	-	-	1
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	42	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数，疾病・都道府県別　2009年48週

	ウエストナイル熱		A型肝炎		エキノコックス症		黄　熱		オウム病		オムスク出血熱		回帰熱		キャサヌル森林病		Q　熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総　数	-	-	-	106	-	22	-	-	-	20	-	-	-	-	-	-	-	2
北海道	-	-	-	1	-	20	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	9	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	22	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
神奈川県	-	-	-	7	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	9	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	7	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
奈良県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数，疾病・都道府県別 2009年48週

	狂犬病		コクシジオイデス症		サル痘		腎症候性出血熱		西部ウマ脳炎		ダニ媒介脳炎		炭疽		つつが虫病		デング熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20	277	1	86
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	1
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	65	-	1
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	2
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	15	-	6
東京都	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	32
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	16	-	6
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	16	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	6
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	1
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	12
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	13	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	12	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	14	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

*鳥インフルエンザ（H5N1）を除く。

報告数・累積報告数，疾病・都道府県別　2009年48週

	東部ウマ脳炎		鳥インフルエンザ*		ニパウイルス感染症		日本紅斑熱		日本脳炎		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		鼻疽		ブルセラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総　数	-	-	-	-	-	-	-	118	-	2	-	-	-	-	-	-	-	2
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数，疾病・都道府県別 2009年48週

	ベネズエラウマ脳炎		ヘンドラウイルス感染症		発しんチフス		ボツリヌス症		マラリア		野兎病		ライム病		リッサウイルス感染症		リフトバレー熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総　数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	52	-	-	-	7	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25	-	-	-	1	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

*E型肝炎およびA型肝炎を除く。
**ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎およびリフトバレー熱を除く。

報告数・累積報告数，疾病・都道府県別 2009年48週

	類鼻疽		レジオネラ症		レプトスピラ症		ロッキー山紅斑熱		アメーバ赤痢		ウイルス性肝炎*		急性脳炎**		クリプトスポリジウム症		クロイツフェルト・ヤコブ病	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	18	625	-	11	-	-	4	693	1	198	14	393	-	16	1	129
北海道	-	-	-	19	-	-	-	-	-	19	-	3	-	19	-	2	-	1
青森県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1	-	9	-	-
岩手県	-	-	-	12	-	-	-	-	-	5	-	1	-	5	-	-	-	1
宮城県	-	-	-	15	-	-	-	-	-	16	-	7	1	2	-	-	-	2
秋田県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	2	-	3	-	-	-	1
山形県	-	-	-	9	-	-	-	-	-	1	-	-	-	6	-	-	-	3
福島県	-	-	-	10	-	-	-	-	-	12	-	-	-	10	-	-	-	4
茨城県	-	-	-	13	-	-	-	-	-	6	-	3	2	20	-	-	-	2
栃木県	-	-	-	12	-	-	-	-	-	6	-	3	-	9	-	-	-	1
群馬県	-	-	-	14	-	-	-	-	-	8	-	5	-	6	-	-	-	3
埼玉県	-	-	-	27	-	-	-	-	-	25	-	11	1	19	-	-	-	4
千葉県	-	-	1	22	-	1	-	-	-	46	-	3	2	34	-	-	-	3
東京都	-	-	1	47	-	-	-	-	1	124	-	29	1	41	-	4	-	15
神奈川県	-	-	-	35	-	1	-	-	-	59	-	15	-	20	-	-	-	9
新潟県	-	-	-	21	-	1	-	-	-	7	-	-	1	18	-	-	-	4
富山県	-	-	-	20	-	-	-	-	-	5	-	1	-	2	-	-	-	1
石川県	-	-	-	18	-	-	-	-	-	8	-	-	-	1	-	-	-	-
福井県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	1	-	1	-	6	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	3	-	1	-	4	-	-	-	2
長野県	-	-	-	10	-	-	-	-	-	5	-	-	-	4	-	-	1	6
岐阜県	-	-	2	24	-	-	-	-	1	12	-	-	-	1	-	-	-	4
静岡県	-	-	1	25	-	-	-	-	1	12	-	6	-	3	-	-	-	5
愛知県	-	-	1	42	-	-	-	-	-	52	-	17	1	23	-	-	-	7
三重県	-	-	2	11	-	1	-	-	-	3	-	-	-	5	-	-	-	5
滋賀県	-	-	-	8	-	-	-	-	-	9	-	3	-	7	-	-	-	2
京都府	-	-	-	11	-	-	-	-	-	17	-	6	2	11	-	-	-	3
大阪府	-	-	1	30	-	-	-	-	-	80	-	15	-	46	-	1	-	8
兵庫県	-	-	3	42	-	-	-	-	1	39	1	16	-	6	-	-	-	2
奈良県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	9	-	1	-	1	-	-	-	1
和歌山県	-	-	-	8	-	-	-	-	-	8	-	1	-	3	-	-	-	1
鳥取県	-	-	1	6	-	-	-	-	-	5	-	1	-	1	-	-	-	-
島根県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	2	-	1	-	1	-	-	-	2
岡山県	-	-	-	10	-	-	-	-	-	16	-	8	-	2	-	-	-	3
広島県	-	-	2	20	-	-	-	-	-	8	-	11	1	12	-	-	-	4
山口県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	4	-	1	-	2	-	-	-	3
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	1
香川県	-	-	1	8	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2	-	-	-	1
愛媛県	-	-	1	6	-	-	-	-	-	4	-	3	-	5	-	-	-	1
高知県	-	-	1	7	-	-	-	-	-	2	-	3	-	3	-	-	-	1
福岡県	-	-	-	12	-	-	-	-	-	20	-	8	-	6	-	-	-	3
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3
長崎県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	5	-	3	-	2	-	-	-	2
熊本県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	5	-	1	-	-	-	-	-	3
大分県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	5	-	1	-	1	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	6	-	6	-	9	-	-	-	1
鹿児島県	-	-	-	6	-	1	-	-	-	1	-	-	2	7	-	-	-	1
沖縄県	-	-	-	8	-	6	-	-	-	3	-	1	-	3	-	-	-	-

報告数・累積報告数，疾病・都道府県別　2009年48週

	劇症型溶血性レンサ球菌感染症		後天性免疫不全症候群		ジアルジア症		髄膜炎菌性髄膜炎		先天性風しん症候群		梅毒		破傷風		バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		バンコマイシン耐性腸球菌感染症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総　数	1	96	5	1274	-	68	1	10	-	1	5	616	-	106	-	-	-	94
北海道	-	4	-	28	-	3	-	-	-	-	-	13	-	7	-	-	-	6
青森県	-	2	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	1
宮城県	-	-	-	7	-	2	-	-	-	-	-	13	-	3	-	-	-	1
秋田県	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-
山形県	-	-	-	3	-	2	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
福島県	-	2	-	5	-	-	-	-	-	-	-	6	-	1	-	-	-	1
茨城県	-	3	-	23	-	3	-	-	-	-	1	9	-	2	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	16	-	1	-	1	-	-	-	6	-	-	-	-	-	3
群馬県	-	3	-	14	-	1	-	-	-	-	-	6	-	1	-	-	-	-
埼玉県	-	6	-	32	-	-	-	-	-	-	-	16	-	2	-	-	-	6
千葉県	-	5	-	47	-	2	-	2	-	-	-	22	-	6	-	-	-	5
東京都	-	8	1	419	-	20	-	1	-	-	2	171	-	7	-	-	-	13
神奈川県	-	8	-	70	-	7	-	1	-	-	-	30	-	4	-	-	-	18
新潟県	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-	-	2
富山県	-	2	-	3	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
石川県	-	2	-	6	-	1	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	1
長野県	-	1	-	10	-	-	-	-	-	1	-	4	-	4	-	-	-	2
岐阜県	-	2	-	13	-	1	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	4	-	23	-	1	-	-	-	-	-	24	-	1	-	-	-	3
愛知県	-	9	1	80	-	1	-	1	-	-	2	43	-	4	-	-	-	1
三重県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	19	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	2	-	8	-	-	-	-	-	-	-	2	-	3	-	-	-	-
京都府	-	1	-	23	-	1	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	6
大阪府	-	4	-	187	-	10	-	-	-	-	-	51	-	4	-	-	-	7
兵庫県	-	7	1	42	-	2	-	-	-	-	-	10	-	3	-	-	-	1
奈良県	-	4	-	14	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	6	-	1	-	-	-	-	-	3	-	3	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-
島根県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	-	3	-	2	-	-	-	2
広島県	-	4	-	29	-	1	-	-	-	-	-	8	-	1	-	-	-	1
山口県	-	-	-	6	-	-	1	1	-	-	-	4	-	4	-	-	-	1
徳島県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
香川県	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3	-	2	-	-	-	-
愛媛県	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-
高知県	1	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	5	-	1	-	-	-	-
福岡県	-	2	1	49	-	2	-	2	-	-	-	51	-	4	-	-	-	9
佐賀県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-
長崎県	-	1	-	8	-	2	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	1	15	-	1	-	1	-	-	-	18	-	4	-	-	-	3
大分県	-	-	-	5	-	1	-	-	-	-	-	5	-	3	-	-	-	1
宮崎県	-	1	-	3	-	1	-	-	-	-	-	10	-	8	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	-	4	-	9	-	-	-	-
沖縄県	-	1	-	16	-	-	-	-	-	-	-	6	-	2	-	-	-	-

報告数・累積報告数，疾病・都道府県別 2009年48週

	風しん		麻しん	
	報告数	累積	報告数	累積
総　数	-	141	3	712
北海道	-	4	-	17
青森県	-	-	-	11
岩手県	-	-	-	2
宮城県	-	1	-	8
秋田県	-	1	-	-
山形県	-	-	-	7
福島県	-	2	-	10
茨城県	-	2	-	10
栃木県	-	2	-	11
群馬県	-	1	-	11
埼玉県	-	5	1	43
千葉県	-	10	-	106
東京都	-	18	-	110
神奈川県	-	13	-	93
新潟県	-	5	-	15
富山県	-	1	-	2
石川県	-	1	-	1
福井県	-	-	-	4
山梨県	-	-	-	1
長野県	-	-	-	13
岐阜県	-	2	-	8
静岡県	-	-	-	10
愛知県	-	10	-	28
三重県	-	2	-	2
滋賀県	-	2	-	7
京都府	-	1	-	11
大阪府	-	12	1	57
兵庫県	-	7	1	7
奈良県	-	2	-	3
和歌山県	-	3	-	7
鳥取県	-	1	-	2
島根県	-	1	-	1
岡山県	-	2	-	10
広島県	-	3	-	23
山口県	-	-	-	3
徳島県	-	-	-	1
香川県	-	-	-	5
愛媛県	-	-	-	6
高知県	-	1	-	-
福岡県	-	22	-	24
佐賀県	-	-	-	3
長崎県	-	-	-	3
熊本県	-	-	-	-
大分県	-	2	-	3
宮崎県	-	2	-	1
鹿児島県	-	-	-	7
沖縄県	-	-	-	5

*鳥インフルエンザを除く。

報告数・定点当り報告数，疾病・都道府県別 2009年48週

	インフルエンザ*		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水 痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	190801	39.63	310	0.10	2479	0.82	8785	2.89	3377	1.11	857	0.28	196	0.06	1283	0.42	76	0.03
北海道	4054	17.78	29	0.20	215	1.50	141	0.99	213	1.49	30	0.21	1	0.01	42	0.29	3	0.02
青森県	2928	45.05	4	0.10	25	0.60	36	0.86	61	1.45	1	0.02	16	0.38	12	0.29	-	-
岩手県	1890	29.53	-	-	26	0.65	127	3.18	58	1.45	23	0.58	2	0.05	12	0.30	-	-
宮城県	3819	40.20	3	0.05	38	0.64	132	2.24	97	1.64	17	0.29	5	0.08	37	0.63	-	-
秋田県	2511	45.65	6	0.17	66	1.89	99	2.83	23	0.66	6	0.17	-	-	10	0.29	-	-
山形県	1888	39.33	3	0.10	51	1.70	66	2.20	46	1.53	66	2.20	1	0.03	13	0.43	-	-
福島県	3395	42.44	3	0.06	27	0.56	68	1.42	73	1.52	30	0.63	7	0.15	17	0.35	-	-
茨城県	3939	32.83	10	0.13	44	0.59	133	1.77	37	0.49	20	0.27	7	0.09	18	0.24	3	0.04
栃木県	2884	37.95	1	0.02	19	0.40	33	0.69	40	0.83	10	0.21	1	0.02	21	0.44	4	0.08
群馬県	3781	37.81	3	0.05	31	0.50	153	2.47	50	0.81	10	0.16	1	0.02	31	0.50	-	-
埼玉県	8940	35.76	4	0.03	157	0.98	546	3.41	190	1.19	75	0.47	13	0.08	82	0.51	2	0.01
千葉県	7557	35.99	7	0.05	152	1.15	361	2.73	98	0.74	56	0.42	9	0.07	64	0.48	18	0.14
東京都	6031	21.01	12	0.08	105	0.71	512	3.46	141	0.95	37	0.25	14	0.09	55	0.37	1	0.01
神奈川県	9270	28.52	4	0.02	151	0.75	668	3.31	193	0.96	21	0.10	35	0.17	102	0.50	5	0.02
新潟県	4413	45.49	10	0.16	72	1.18	123	2.02	84	1.38	28	0.46	5	0.08	37	0.61	1	0.02
富山県	2067	43.06	9	0.31	64	2.21	134	4.62	60	2.07	6	0.21	-	-	10	0.34	-	-
石川県	2835	59.06	14	0.48	15	0.52	115	3.97	30	1.03	6	0.21	1	0.03	10	0.34	-	-
福井県	3054	95.44	1	0.05	14	0.64	110	5.00	60	2.73	18	0.82	-	-	7	0.32	1	0.05
山梨県	1288	32.20	-	-	27	1.13	33	1.38	23	0.96	7	0.29	-	-	4	0.17	-	-
長野県	4338	49.30	3	0.05	39	0.71	125	2.27	72	1.31	3	0.05	10	0.18	14	0.25	-	-
岐阜県	3706	42.60	3	0.06	12	0.23	105	1.98	29	0.55	3	0.06	1	0.02	13	0.25	-	-
静岡県	5171	38.88	11	0.13	51	0.60	261	3.07	86	1.01	5	0.06	-	-	37	0.44	1	0.01
愛知県	9741	49.95	9	0.05	115	0.64	561	3.10	139	0.77	24	0.13	6	0.03	76	0.42	7	0.04
三重県	2777	38.57	5	0.11	14	0.31	184	4.09	34	0.76	-	-	7	0.16	28	0.62	-	-
滋賀県	2675	51.44	-	-	17	0.55	112	3.61	23	0.74	7	0.23	1	0.03	9	0.29	-	-
京都府	3722	30.02	2	0.03	36	0.48	188	2.51	59	0.79	7	0.09	3	0.04	18	0.24	-	-
大阪府	8363	27.42	14	0.07	157	0.79	670	3.38	244	1.23	25	0.13	5	0.03	67	0.34	3	0.02
兵庫県	5804	29.17	11	0.09	61	0.47	425	3.29	115	0.89	17	0.13	5	0.04	49	0.38	2	0.02
奈良県	1702	30.95	5	0.14	14	0.40	135	3.86	15	0.43	6	0.17	-	-	5	0.14	-	-
和歌山県	1515	30.30	2	0.06	8	0.26	43	1.39	35	1.13	8	0.26	4	0.13	7	0.23	-	-
鳥取県	1059	36.52	3	0.16	40	2.11	59	3.11	14	0.74	-	-	-	-	7	0.37	2	0.11
島根県	1823	47.97	9	0.39	34	1.48	77	3.35	28	1.22	13	0.57	-	-	10	0.43	-	-
岡山県	4255	50.65	9	0.17	27	0.50	176	3.26	57	1.06	28	0.52	-	-	16	0.30	-	-
広島県	5376	46.75	13	0.18	50	0.69	159	2.21	86	1.19	40	0.56	4	0.06	44	0.61	6	0.08
山口県	4515	63.59	5	0.10	145	2.90	105	2.10	51	1.02	10	0.20	3	0.06	19	0.38	-	-
徳島県	1848	48.63	1	0.04	7	0.30	47	2.04	32	1.39	8	0.35	1	0.04	7	0.30	-	-
香川県	2579	54.87	-	-	15	0.54	66	2.36	15	0.54	15	0.54	-	-	13	0.46	1	0.04
愛媛県	3225	52.87	3	0.08	14	0.38	118	3.19	61	1.65	1	0.03	9	0.24	25	0.68	-	-
高知県	2204	45.92	1	0.03	17	0.57	49	1.63	22	0.73	2	0.07	-	-	7	0.23	4	0.13
福岡県	12544	63.35	29	0.24	79	0.66	457	3.81	188	1.57	70	0.58	2	0.02	85	0.71	7	0.06
佐賀県	1984	50.87	5	0.22	15	0.65	42	1.83	29	1.26	11	0.48	-	-	12	0.52	-	-
長崎県	4140	59.14	2	0.05	16	0.36	71	1.61	38	0.86	15	0.34	7	0.16	17	0.39	1	0.02
熊本県	3368	42.10	17	0.35	41	0.85	358	7.46	49	1.02	12	0.25	7	0.15	28	0.58	1	0.02
大分県	4363	75.22	9	0.25	31	0.86	275	7.64	73	2.03	15	0.42	-	-	28	0.78	1	0.03
宮崎県	4076	69.08	7	0.19	23	0.64	160	4.44	77	2.14	9	0.25	2	0.06	23	0.64	1	0.03
鹿児島県	5761	61.95	8	0.15	85	1.55	135	2.45	105	1.91	9	0.16	1	0.02	24	0.44	-	-
沖縄県	1623	27.98	1	0.03	17	0.50	32	0.94	24	0.71	27	0.79	-	-	11	0.32	1	0.03

*髄膜炎菌性髄膜炎は除く。

報告数・定点当り報告数，疾病・都道府県別 2009年48週

	ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎*		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎		RSウイルス感染症
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数
総 数	172	0.06	2095	0.69	8	0.01	221	0.33	9	0.02	8	0.02	110	0.24	16	0.04	1327
北海道	8	0.06	167	1.17	1	0.03	7	0.24	-	-	-	-	5	0.22	-	-	82
青森県	-	-	12	0.29	-	-	3	0.27	-	-	-	-	3	0.50	-	-	54
岩手県	1	0.03	18	0.45	-	-	4	0.29	1	0.05	-	-	3	0.16	-	-	2
宮城県	3	0.05	12	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	22	1.83	-	-	5
秋田県	1	0.03	17	0.49	1	0.14	-	-	-	-	-	-	2	0.25	-	-	17
山形県	1	0.03	85	2.83	-	-	1	0.13	-	-	-	-	4	0.40	-	-	19
福島県	7	0.15	58	1.21	-	-	1	0.08	-	-	-	-	2	0.29	-	-	29
茨城県	1	0.01	46	0.61	-	-	11	0.65	-	-	-	-	2	0.15	-	-	1
栃木県	1	0.02	16	0.33	-	-	1	0.08	-	-	-	-	1	0.14	1	0.14	11
群馬県	3	0.05	57	0.92	-	-	15	1.07	-	-	-	-	-	-	-	-	14
埼玉県	10	0.06	185	1.16	-	-	12	0.28	-	-	-	-	7	0.78	3	0.33	21
千葉県	7	0.05	141	1.07	1	0.03	10	0.29	-	-	-	-	-	-	2	0.22	8
東京都	19	0.13	96	0.65	1	0.03	6	0.15	1	0.05	-	-	2	0.09	2	0.09	20
神奈川県	7	0.03	127	0.63	1	0.02	38	0.93	-	-	1	0.14	-	-	-	-	17
新潟県	3	0.05	43	0.70	1	0.11	5	0.56	-	-	-	-	1	0.08	4	0.33	41
富山県	2	0.07	41	1.41	-	-	4	0.57	-	-	-	-	3	0.60	-	-	14
石川県	-	-	19	0.66	-	-	1	0.14	-	-	-	-	2	0.40	-	-	4
福井県	1	0.05	53	2.41	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
山梨県	-	-	3	0.13	-	-	2	0.22	-	-	-	-	-	-	1	0.10	-
長野県	3	0.05	8	0.15	-	-	1	0.09	1	0.09	-	-	5	0.45	-	-	4
岐阜県	-	-	18	0.34	-	-	-	-	-	-	1	0.20	-	-	-	-	21
静岡県	8	0.09	39	0.46	-	-	1	0.05	-	-	-	-	1	0.11	-	-	9
愛知県	4	0.02	64	0.35	-	-	1	0.03	-	-	-	-	6	0.40	-	-	57
三重県	-	-	17	0.38	-	-	3	0.25	-	-	-	-	2	0.22	-	-	7
滋賀県	-	-	5	0.16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
京都府	3	0.04	28	0.37	-	-	2	0.11	-	-	-	-	-	-	-	-	5
大阪府	6	0.03	158	0.80	-	-	8	0.15	2	0.14	-	-	7	0.50	3	0.21	208
兵庫県	7	0.05	30	0.23	-	-	5	0.14	-	-	-	-	-	-	-	-	38
奈良県	1	0.03	38	1.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
和歌山県	4	0.13	26	0.84	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
鳥取県	1	0.05	9	0.47	-	-	2	0.67	-	-	-	-	3	0.60	-	-	4
島根県	1	0.04	2	0.09	-	-	-	-	-	-	1	0.13	-	-	-	-	11
岡山県	1	0.02	9	0.17	1	0.08	6	0.50	-	-	-	-	1	0.20	-	-	30
広島県	1	0.01	63	0.88	-	-	15	0.79	-	-	-	-	1	0.05	-	-	79
山口県	5	0.10	4	0.08	-	-	-	-	-	-	-	-	3	0.33	-	-	20
徳島県	-	-	12	0.52	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
香川県	1	0.04	2	0.07	-	-	-	-	-	-	1	0.20	-	-	-	-	13
愛媛県	1	0.03	4	0.11	-	-	6	0.75	-	-	-	-	2	0.33	-	-	6
高知県	5	0.17	13	0.43	-	-	1	0.33	-	-	-	-	1	0.14	-	-	20
福岡県	6	0.05	124	1.03	-	-	5	0.19	-	-	-	-	2	0.13	-	-	113
佐賀県	-	-	14	0.61	-	-	-	-	1	0.17	-	-	-	-	-	-	16
長崎県	-	-	45	1.02	-	-	5	0.63	-	-	-	-	1	0.08	-	-	22
熊本県	13	0.27	35	0.73	-	-	10	1.11	-	-	1	0.07	-	-	-	-	58
大分県	7	0.19	46	1.28	-	-	1	0.20	-	-	-	-	1	0.09	-	-	12
宮崎県	2	0.06	16	0.44	-	-	9	1.50	-	-	-	-	1	0.14	-	-	117
鹿児島県	12	0.22	18	0.33	1	0.14	5	0.71	-	-	-	-	2	0.17	-	-	65
沖縄県	5	0.15	52	1.53	-	-	14	1.40	3	0.43	3	0.43	12	1.71	-	-	3

獣医師が届出を行う感染症と対象動物

注)報告数は感染実験等の学術的研究による発生を除く。

報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

2009年48週

	エボラ出血熱		マールブルグ病		ペスト		重症急性呼吸器症候群(SARS)						結核		鳥インフルエンザ(H5N1)		細菌性赤痢	
	サル		サル		プレーリードッグ		イタチアナグマ		タヌキ		ハクビシン		サル		鳥類		サル	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総　数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	25
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	21
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数，疾病・都道府県別 2009年48週

	ウエストナイル熱		エキノコックス症	
	鳥類		犬	
	報告数	累積	報告数	累積
総　数	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-

感染症週報　第11巻　第48号　2009年12月11日発行
発　行：国立感染症研究所
　　厚生労働省健康局結核感染症課
　　厚生労働省大臣官房統計情報部
事務局：国立感染症研究所感染症情報センター
　　〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1
　　ＴＥＬ：03-5285-1111
　　ＦＡＸ：03-5285-1129
ＵＲＬ：http://idsc.nih.go.jp/index-j.html
　　＜国立感染症研究所　感染症情報センター＞
　　http://www.mhlw.go.jp/
　　＜厚生労働省＞
　　http://www.forth.go.jp/
　　＜旅行者のための海外感染症情報（厚生労働省検疫所）＞

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。